

第3章 在宅要介護認定者調査

1. 回答者属性

(1) 回答者

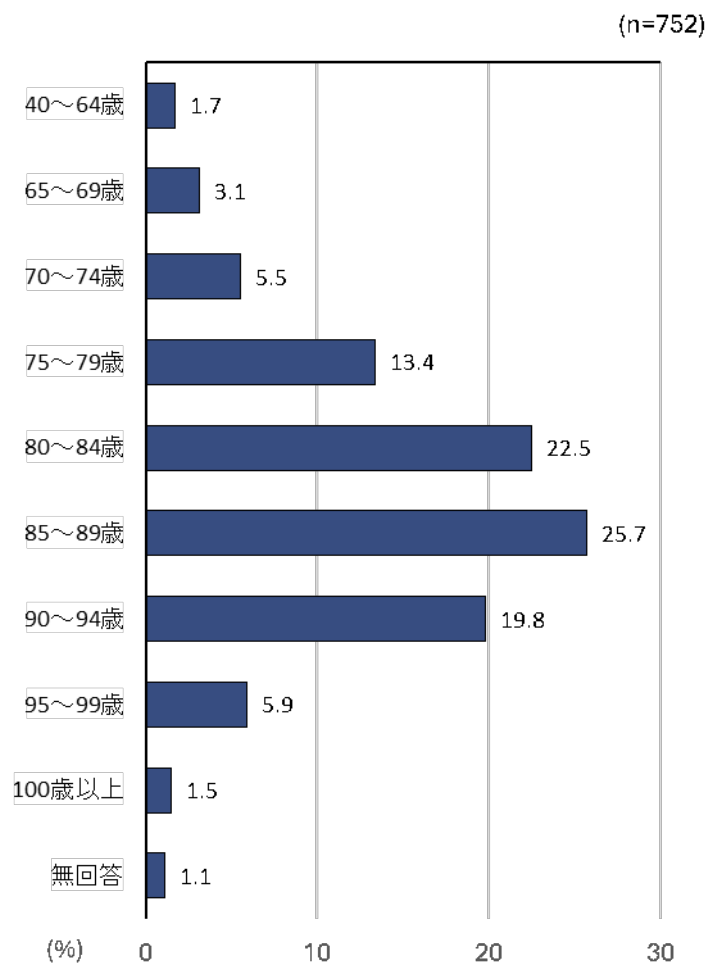
(単位:%)

	あて名 のご本 人	あて名 の方の配偶 者(夫・ 妻)	あて名 の方のこども	あて名 の方の親族	友人・知 人	ケア マネ ジャ ー	施設 の職 員	ホー ムヘル パー	その 他	無回 答
在宅要介護認定者 (回答者数 752)	36.3	16.2	31.9	6.8	0.0	0.8	1.6	0.0	2.5	3.9

(2) 年齢

あなたの年齢をお答えください。

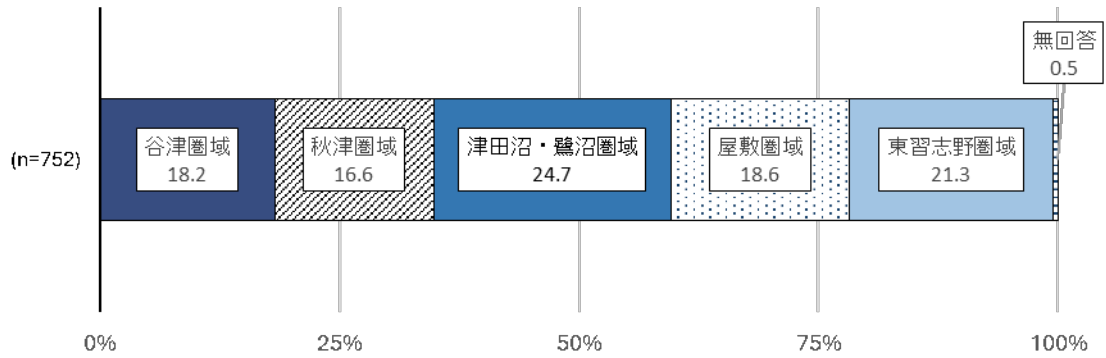
85～89 歳が 25.7%と最も高く、次いで 80～84 歳が 22.5%、90～94 歳が 19.8%となっている。



(3) 居住地区

お住まいの地区名を教えてください。

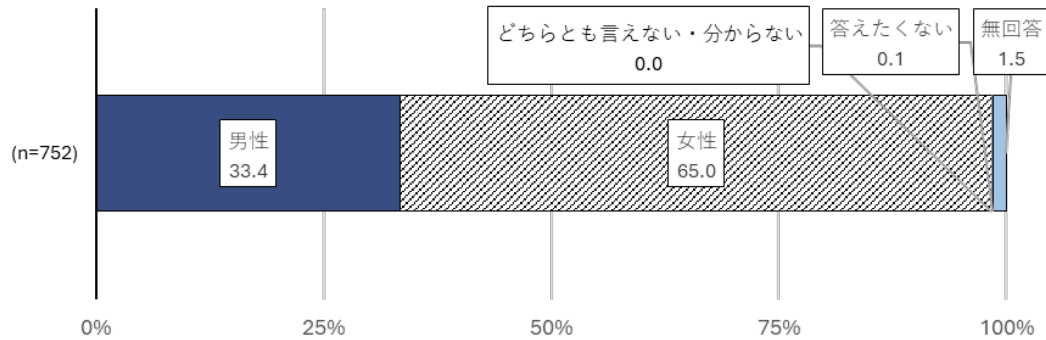
津田沼・鷺沼圏域が24.7%、東習志野圏域が21.3%と比較的高くなっている。



(4) 性別

あなたの性別をお答えください。

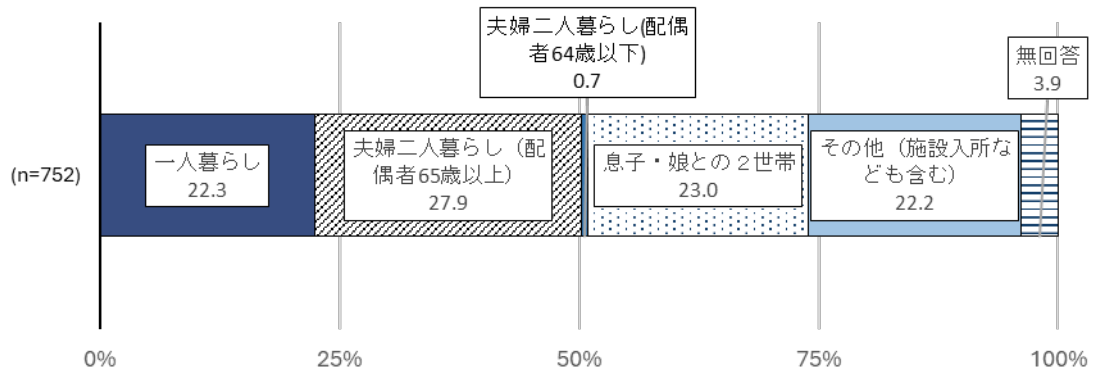
男性が33.4%、女性が65.0%で女性が多い。



(5) 家族構成

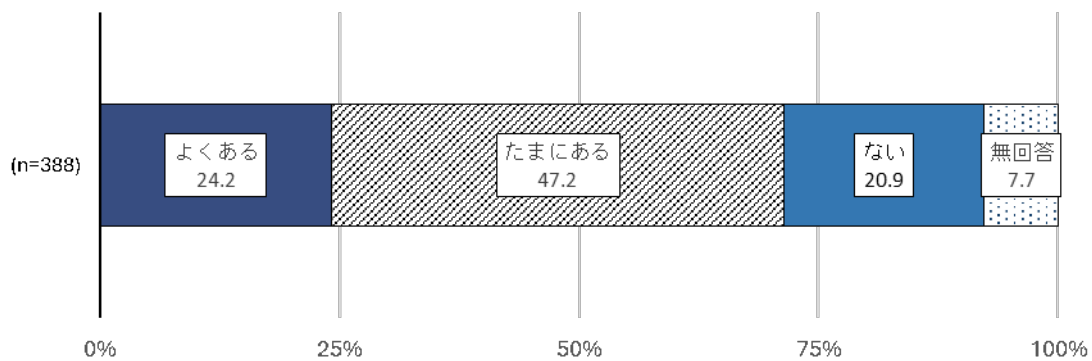
家族構成をお答えください。

「夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 27.9%と最も高い。次いで、「息子・娘との2世帯」が 23.0%、「一人暮らし」が 22.3%となっている。



(ご家族と同居されている方)日中、一人になることがありますか。

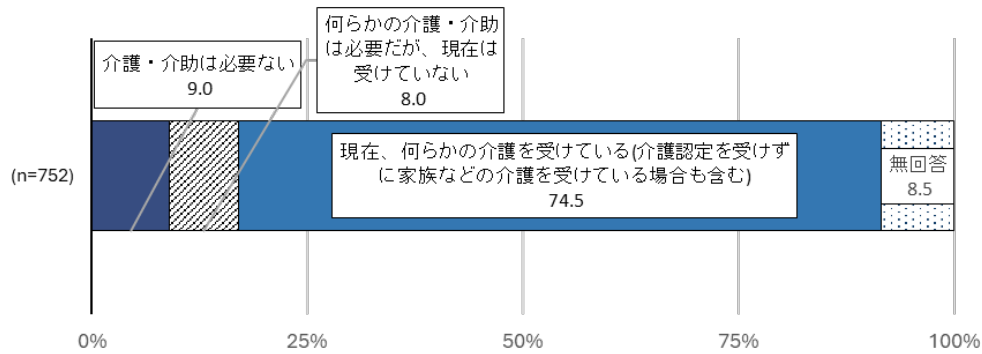
「たまにある」が 47.2%と最も高く、次いで「よくある」が 24.2%となっている。



(6) 介護・介助の状況

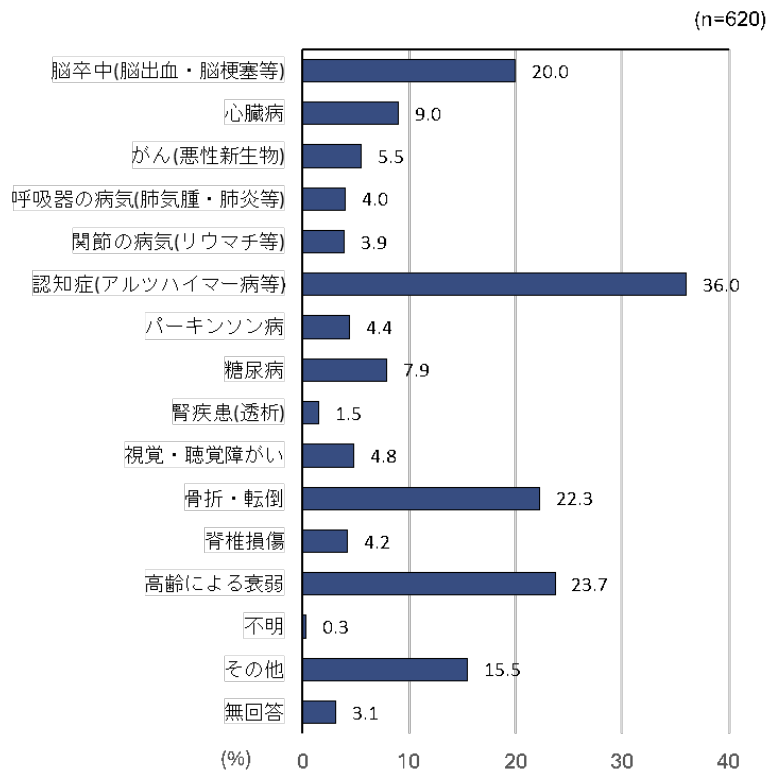
あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が74.5%で最も多く、次いで「介護・介助は必要ない」が9.0%となっている。



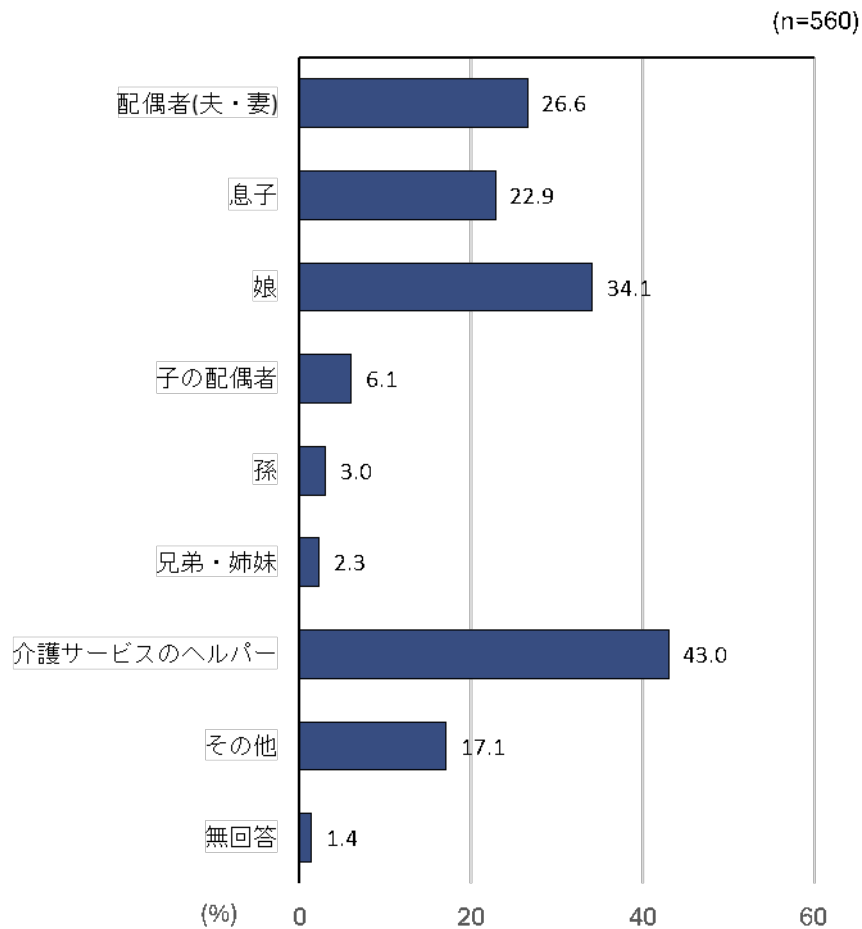
(介護・介助が必要な方)介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(〇はいくつでも)

「認知症(アルツハイマー病等)」が36.0%で最も多く、次いで「高齢による衰弱」が23.7%となっている。その他、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(20.0%)、「骨折・転倒」(22.3%)も比較的高くなっている。



(介護・介助が必要な方)主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○はいくつでも)

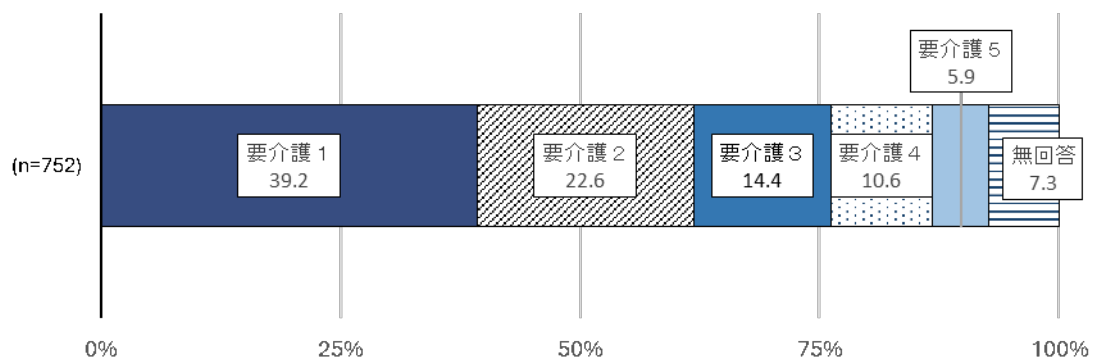
「介護サービスのヘルパー」が43.0%で最も多く、次いで「娘」が34.1%となっている。



(7) 認定区分

あなたの認定区分は次のどれにあたりますか。

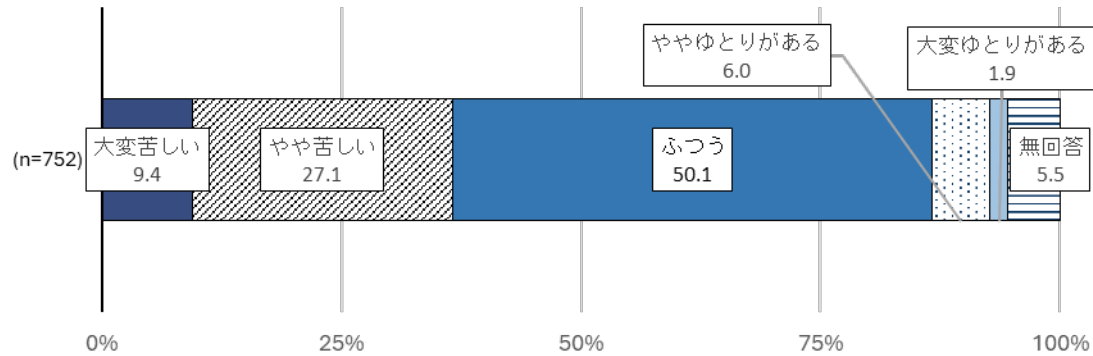
「要介護1」が39.2%で最も多く、次いで「要介護2」が22.6%となっている。



(8) 経済状況

現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか。

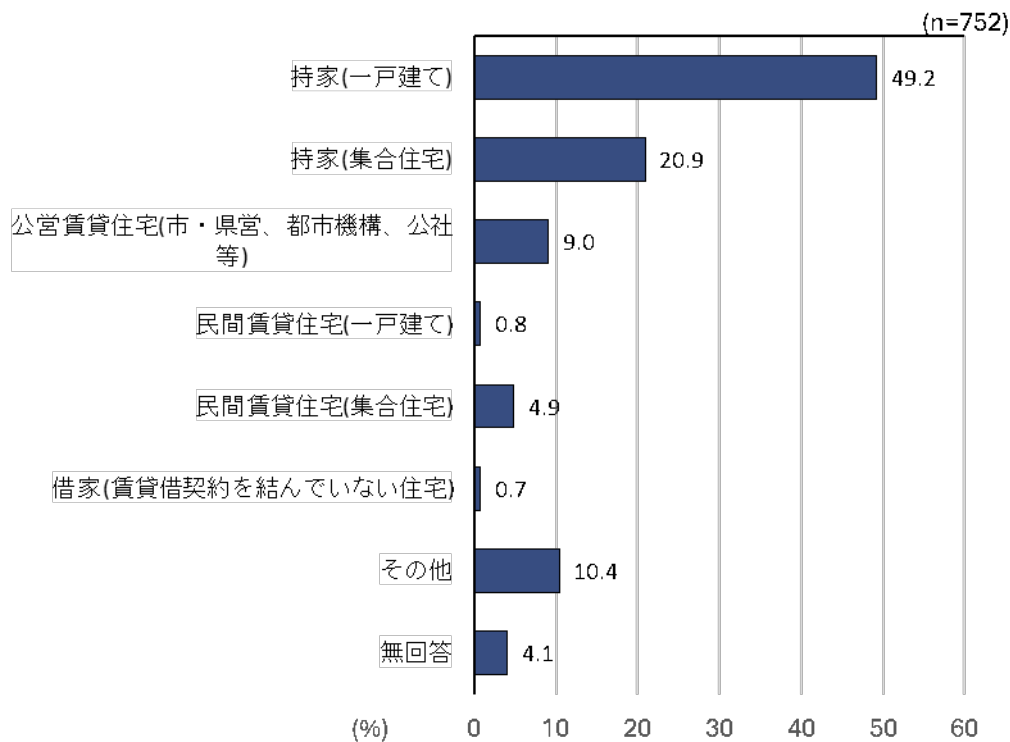
「ふつう」が 50.1%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 27.1%となっている。



(9) 住まいの形態

お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。

「持家(一戸建て)」が 49.2%で最も多く、次いで「持家(集合住宅)」が 20.9%となっている。

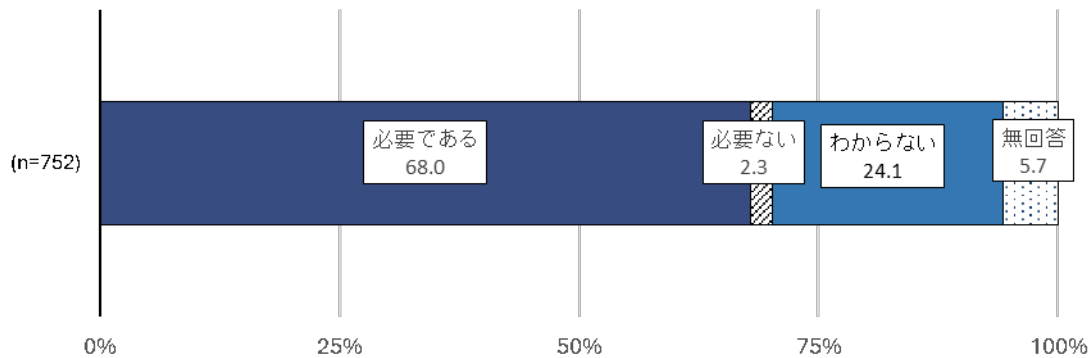


2. 地域交流・ボランティアについて

(1) 地域における支え合いの意識

独居世帯や高齢者世帯が近年増えていますが、隣近所や地域で高齢者を支えることが必要だと思いますか。

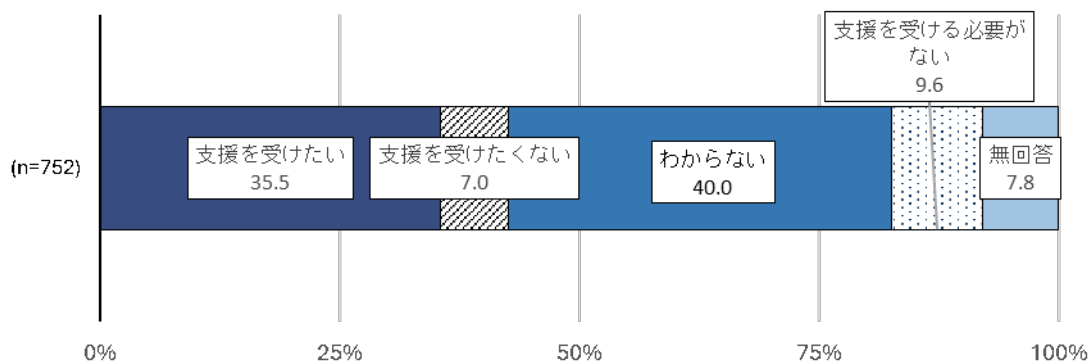
「必要である」が68.0%で最も多く、次いで「わからない」が24.1%となっている。



(2) ボランティア支援の利用意向

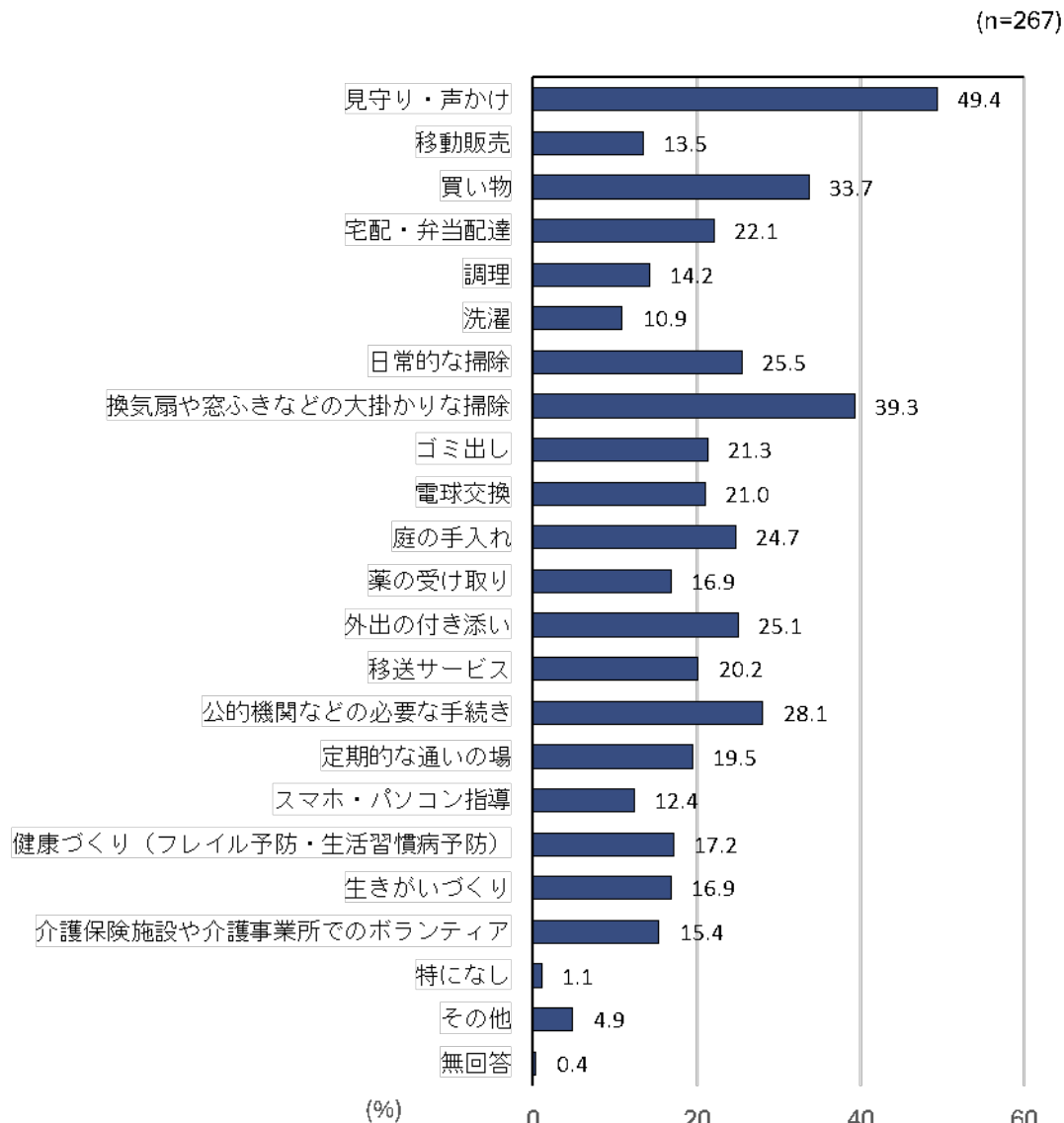
高齢者を支える地域のボランティア活動があれば、支援を受けてみたいと思いますか。

「わからない」が40.0%で最も多く、次いで「支援を受けたい」が35.5%となっている。



(「支援を受けたい」を選択)高齢者を支える地域のボランティア活動で、どの支援を利用したいですか。
(○はいくつでも)

「見守り・声かけ」が49.4%で最も多く、次いで「換気扇や窓ふきなどの大掛かりな掃除」が39.3%となっている。その他、「買い物」(33.7%)、「公的機関などの必要な手続き」(28.1%)が比較的高くなっている。

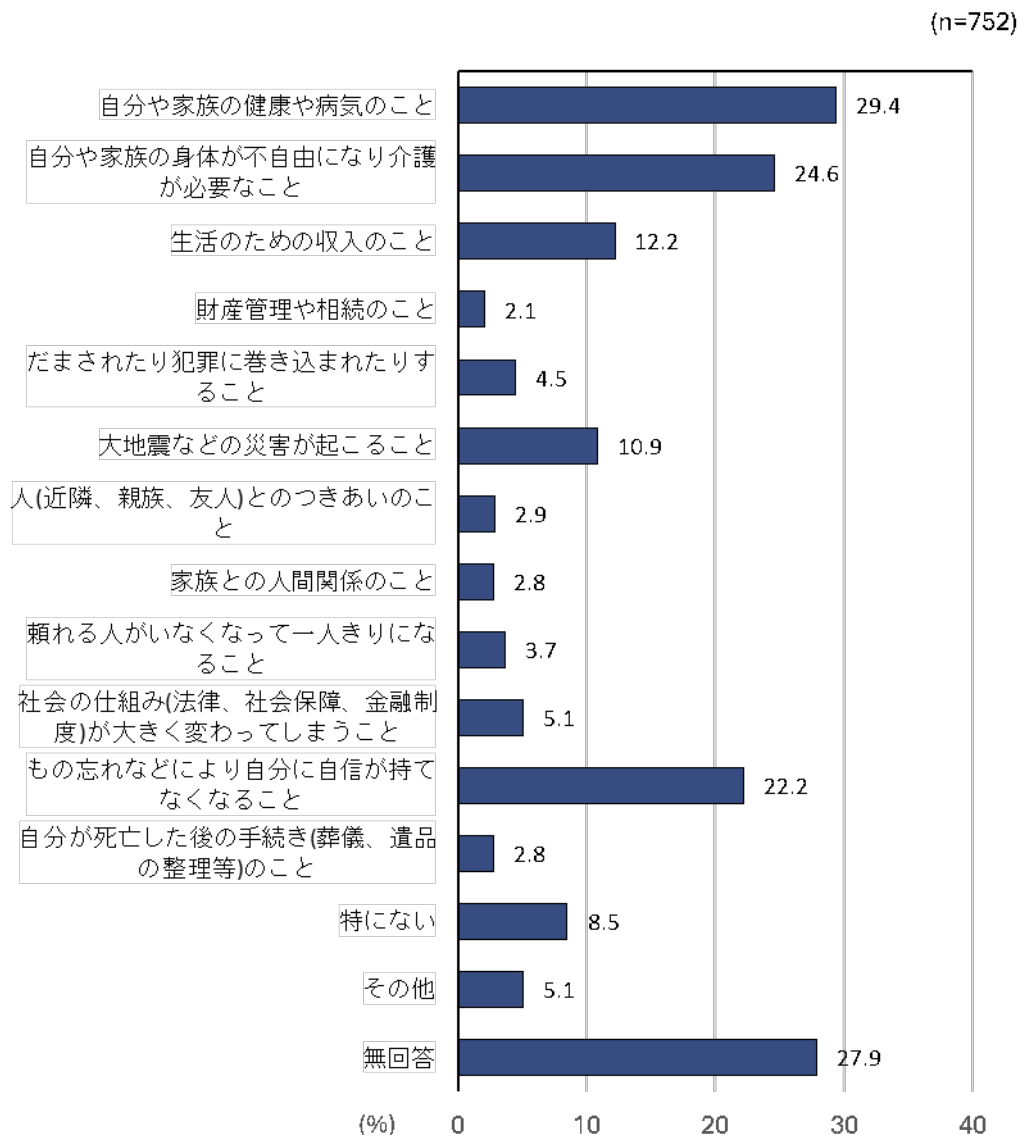


3. 日常生活で困っていることや将来の不安について

現在困っていることと将来についての不安はありますか。あてはまる欄に○を付けてください。(それぞれ○は3つまで)

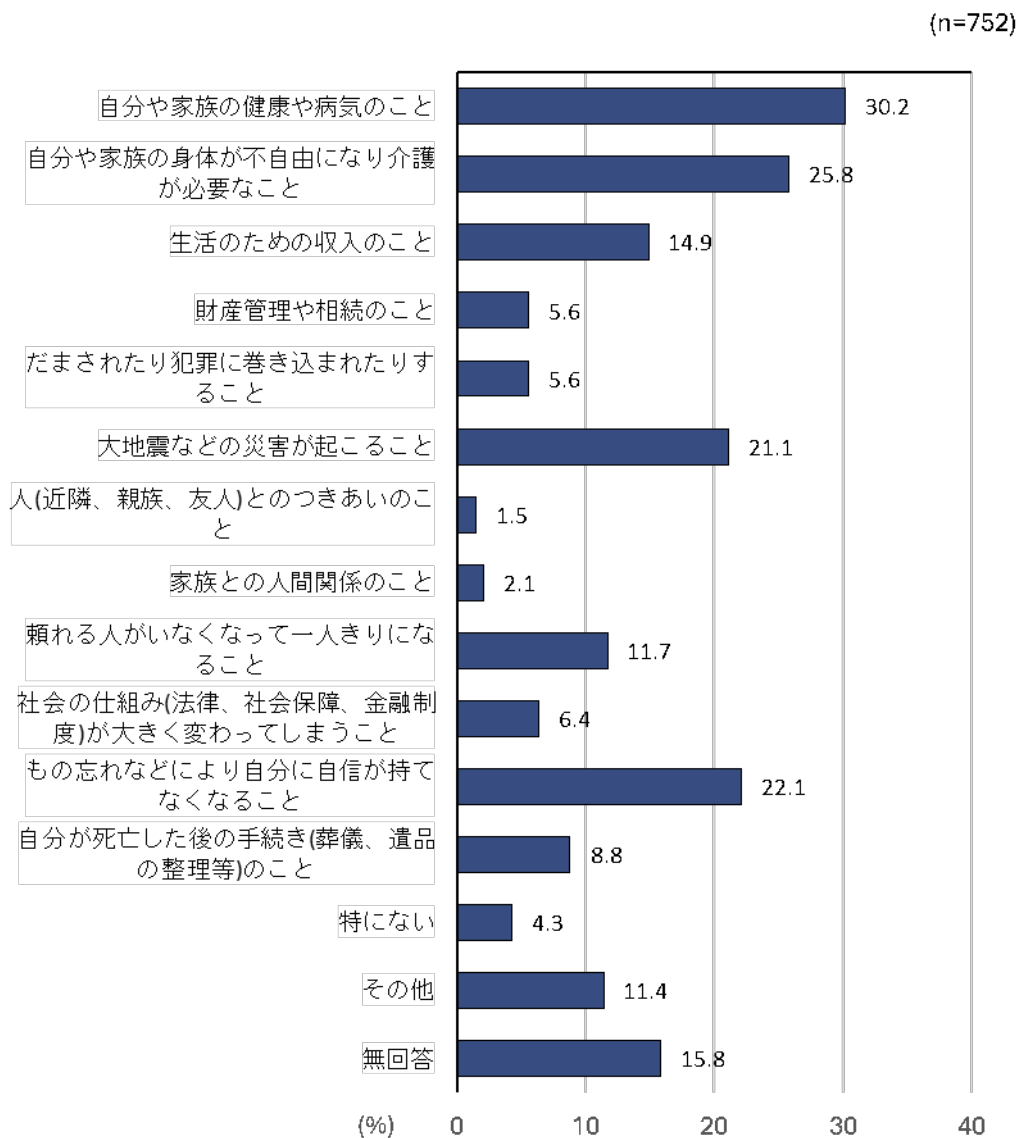
(1) 困っていること

「自分や家族の健康や病気のこと」が29.4%で最も多く、次いで「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要なこと」が24.6%となっている。その他、「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」(22.2%)が比較的高くなっている。



(2) 将来についての不安

「自分や家族の健康や病気のこと」が30.2%で最も多く、次いで「自分や家族の身体が不自由になり介護が必要なこと」が25.8%となっている。その他、「もの忘れなどにより自分に自信が持てなくなること」(22.1%)、「大地震などの災害が起こること」(21.1%)が比較的高くなっている。

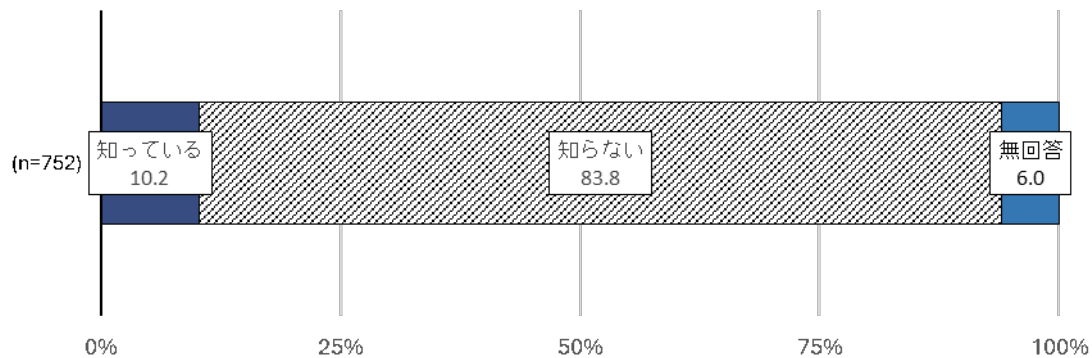


4. 将来への備え等について

(1) 人生会議・ACP の認知度

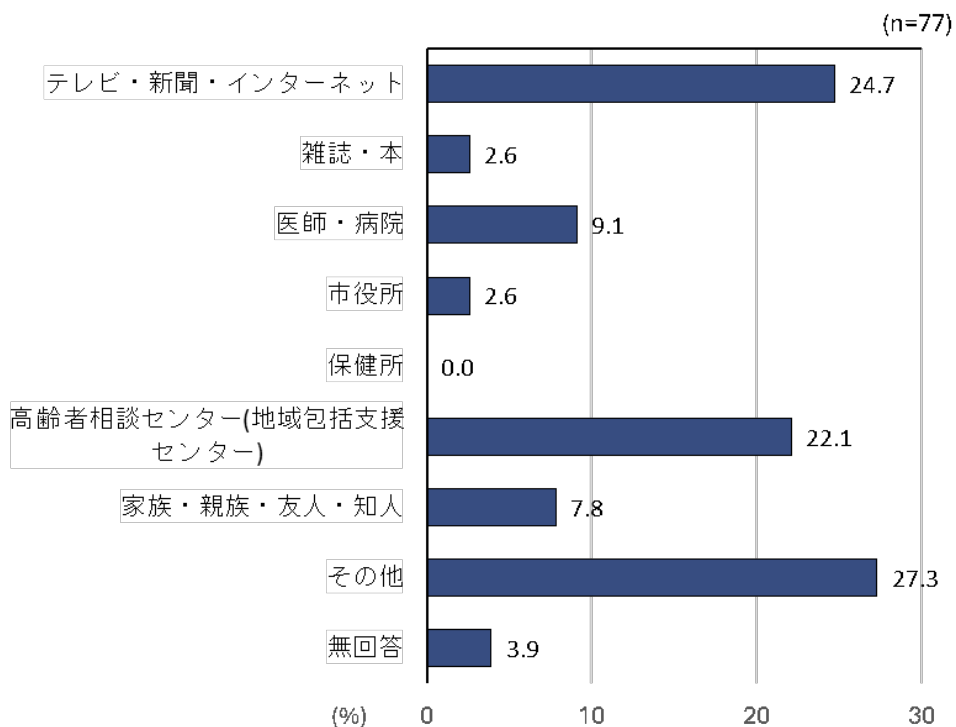
人生会議またはアドバンス・ケア・プランニング(ACP)という言葉を知っていますか。

「知らない」が 83.8%で最も多く、次いで「知っている」が 10.2%となっている。



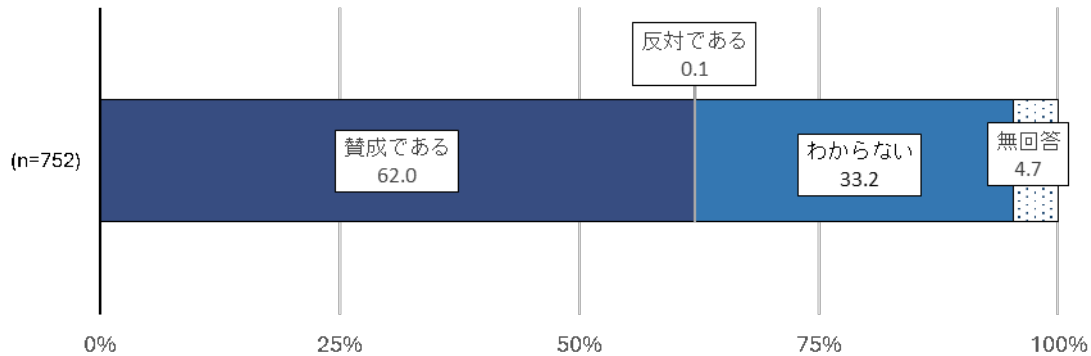
(「知っている」を選択)(1)―1 ACP という言葉はどこで知りましたか。

「テレビ・新聞・インターネット」が 24.7%と最も高く、次いで「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」が 22.1%となっている。



人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療・療養を受けるためには、家族等や医療・ケアチームとあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うことが重要といわれています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。

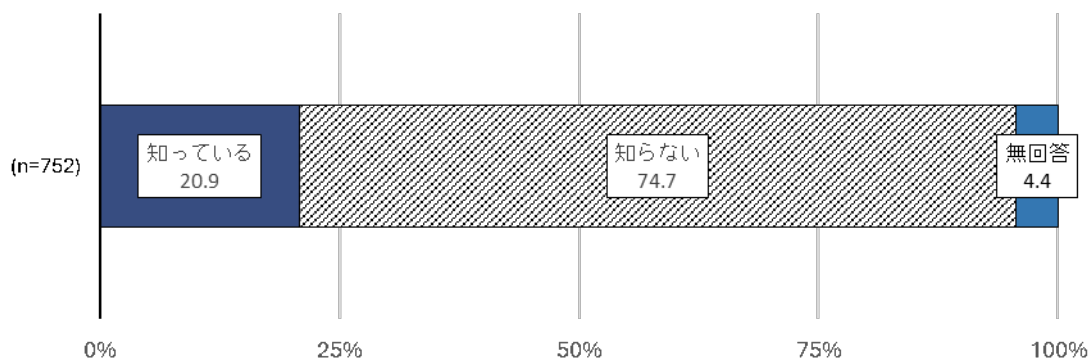
「賛成である」が62.0%で最も多く、次いで「わからない」が33.2%となっている。



(2) 新しい認知症観の認知度

令和6年1月に認知症基本法が策定され、その中の考え方として「新しい認知症観」の普及を推進しています。「新しい認知症観」を知っていますか。

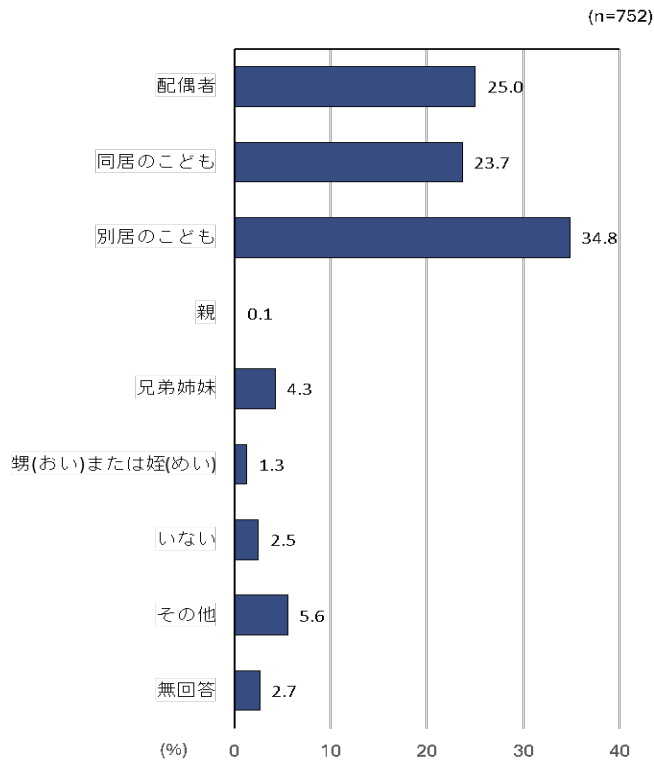
「知らない」が74.7%で最も多く、次いで「知っている」が20.9%となっている。



(3) 緊急時の意思決定・金銭管理を担う人の有無

・あなたの身に緊急事態が起きた時(事故等による介護を要する状態、認知症など)、治療の方針の決定や介護サービスの利用に必要な手続き、金銭管理をしてくれる身内の方はいますか。いる場合は、主にどなたですか。(○は1つ)

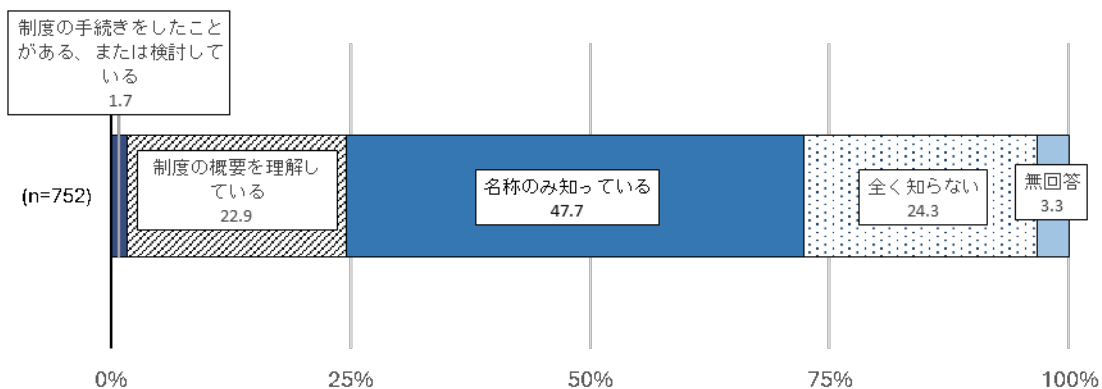
「別居のこども」が34.8%で最も多く、次いで「配偶者」が25.0%となっている。



(4) 成年後見制度の認知度

あなたは「成年後見制度」※について、どの程度ご存知ですか。(○は1つ)

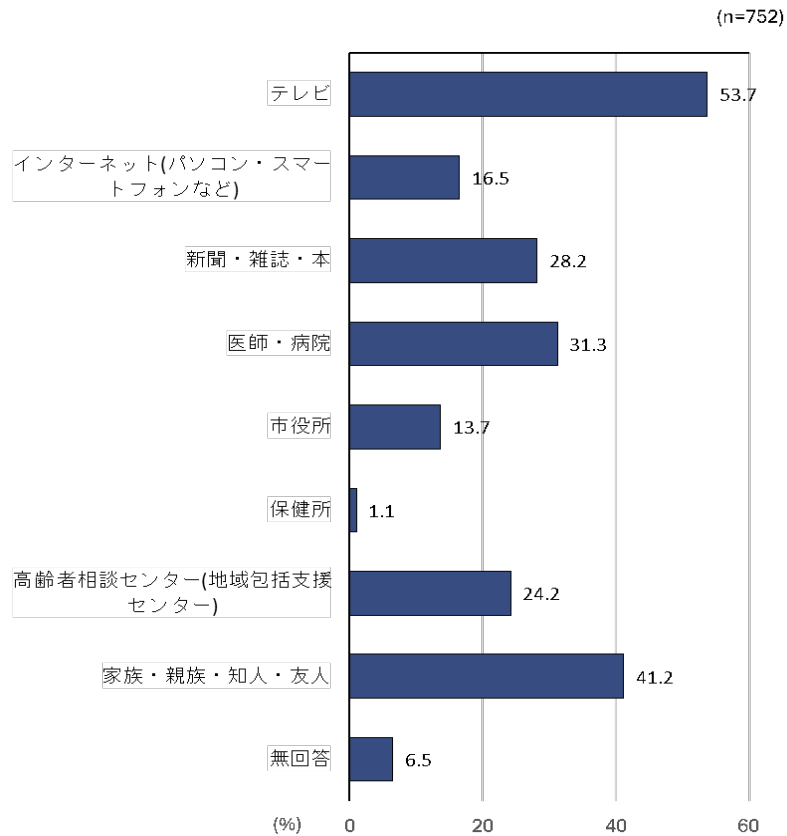
「名称のみ知っている」が47.7%で最も多く、次いで「全く知らない」が24.3%となっている。



(5) 医療・介護情報の入手先

医療や介護についての知識や情報を、何から得ていますか。(〇はいくつでも)

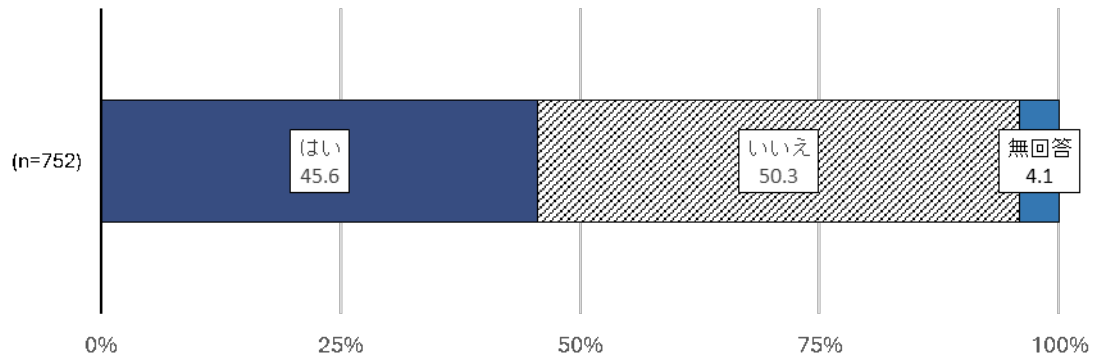
「テレビ」が53.7%で最も多く、次いで「家族・親族・知人・友人」が41.2%となっている。その他、「医師・病院」(31.3%)、「新聞・雑誌・本」(28.2%)が比較的高くなっている。



(6) 認知症の有無(本人・家族)

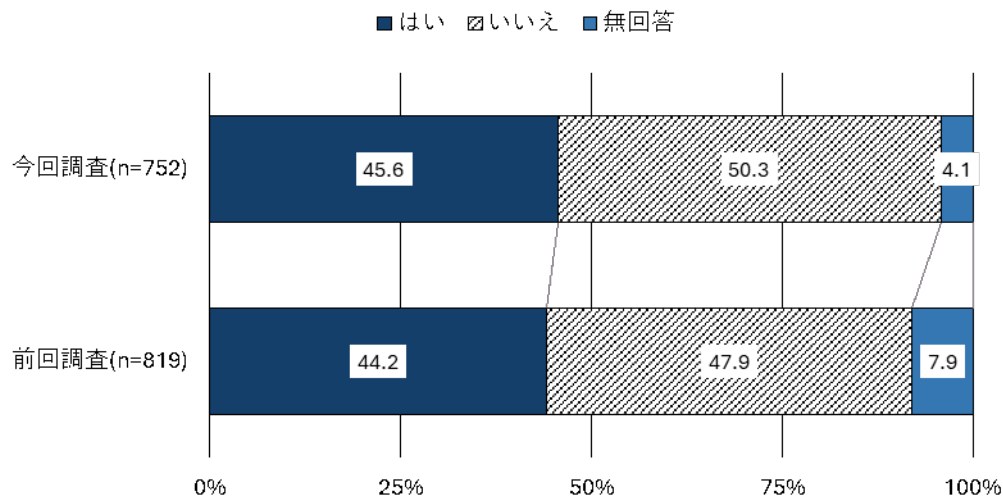
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人はいませんか。

「いいえ」が50.3%で最も多く、次いで「はい」が45.6%となっている。



【経年比較】

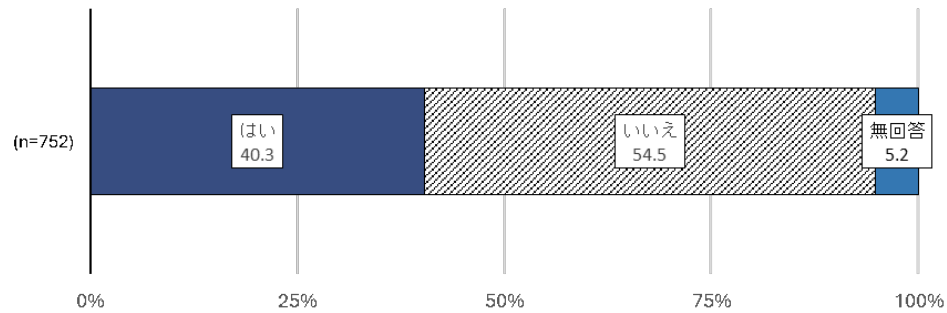
前回調査と比較しても概ね同程度の結果となっている。



(7) 認知症相談窓口の認知度

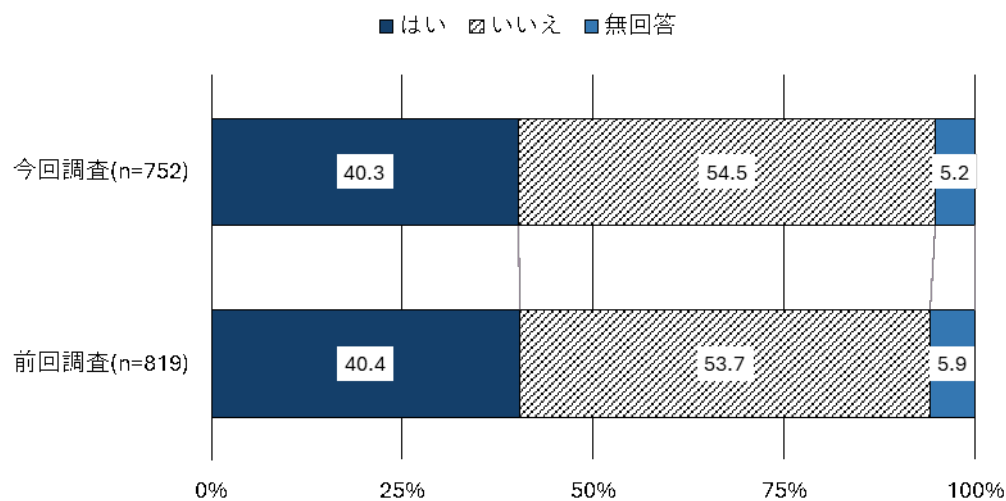
認知症に関する相談窓口を知っていますか。

「いいえ」が54.5%で最も多く、次いで「はい」が40.3%となっている。



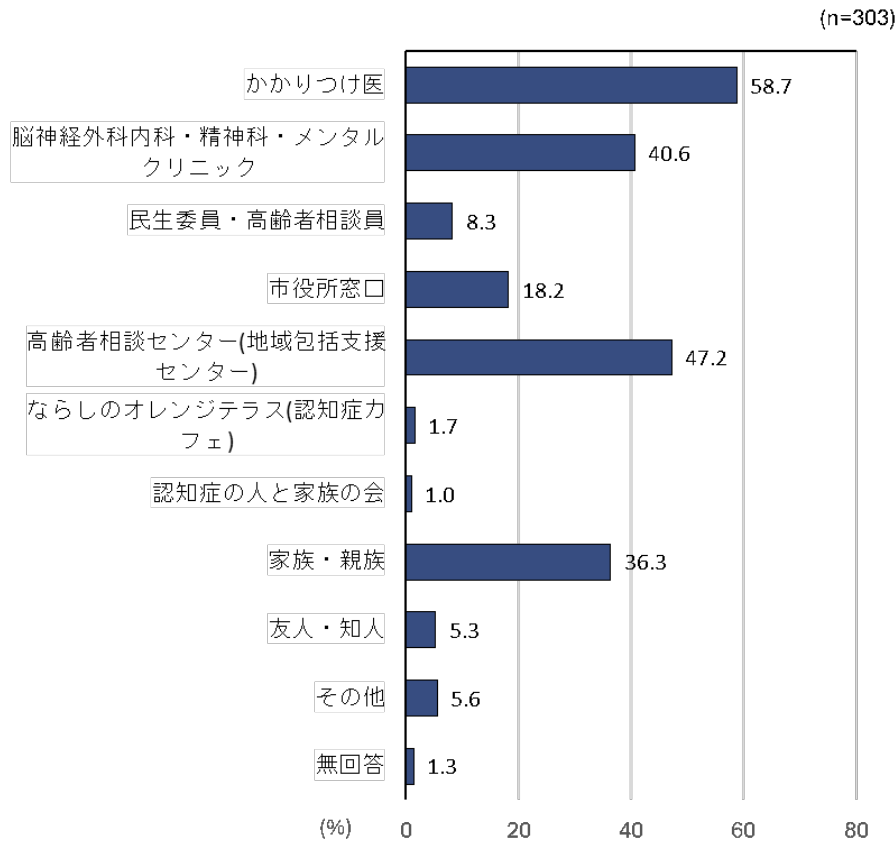
【経年比較】

前回調査と比較しても概ね同程度の結果となっている。



(「はい」を選択された方)(8)－1 どこに相談すると思いますか、または相談しましたか。(〇はいくつでも)

「かかりつけ医」が58.7%で最も多く、次いで「高齢者相談センター(地域包括支援センター)」が47.2%となっている。その他、「脳神経外科内科・精神科・メンタルクリニック」(40.6%)、「家族・親族」(36.3%)が比較的高くなっている。

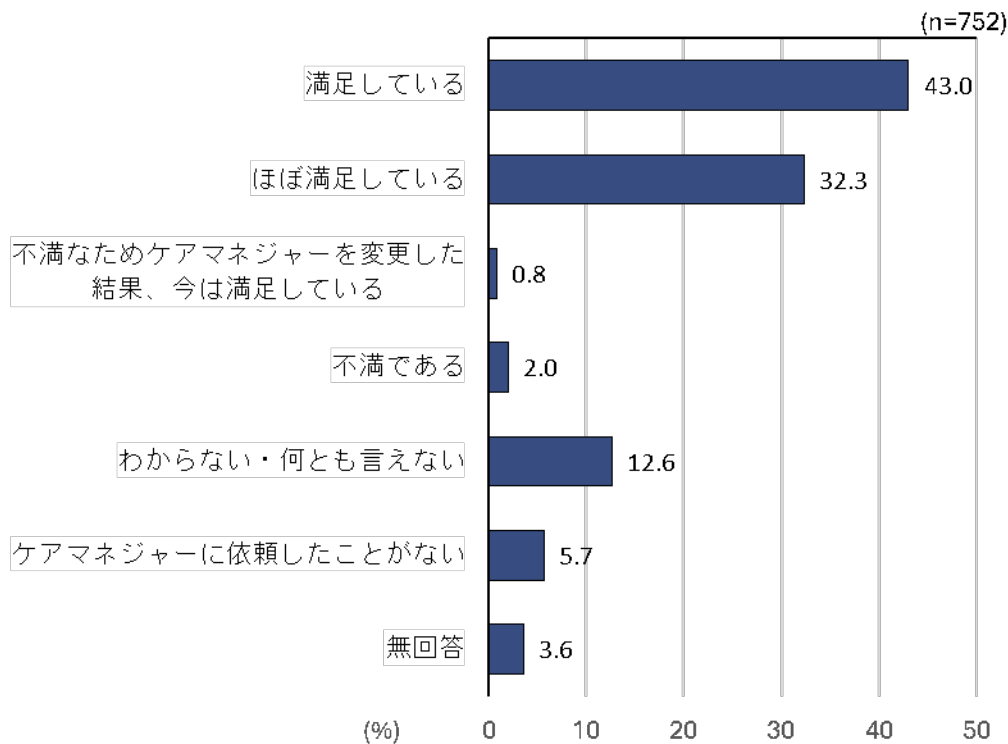


5. 介護保険の利用について

(1) ケアマネジャー対応の満足度

ケアマネジャーの対応に満足していますか。

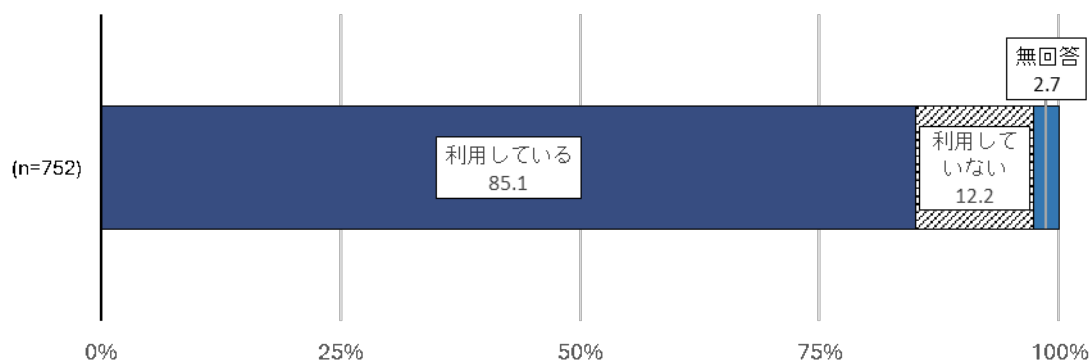
「満足している」が43.0%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」が32.3%となっている。



(2) 介護保険サービス利用状況

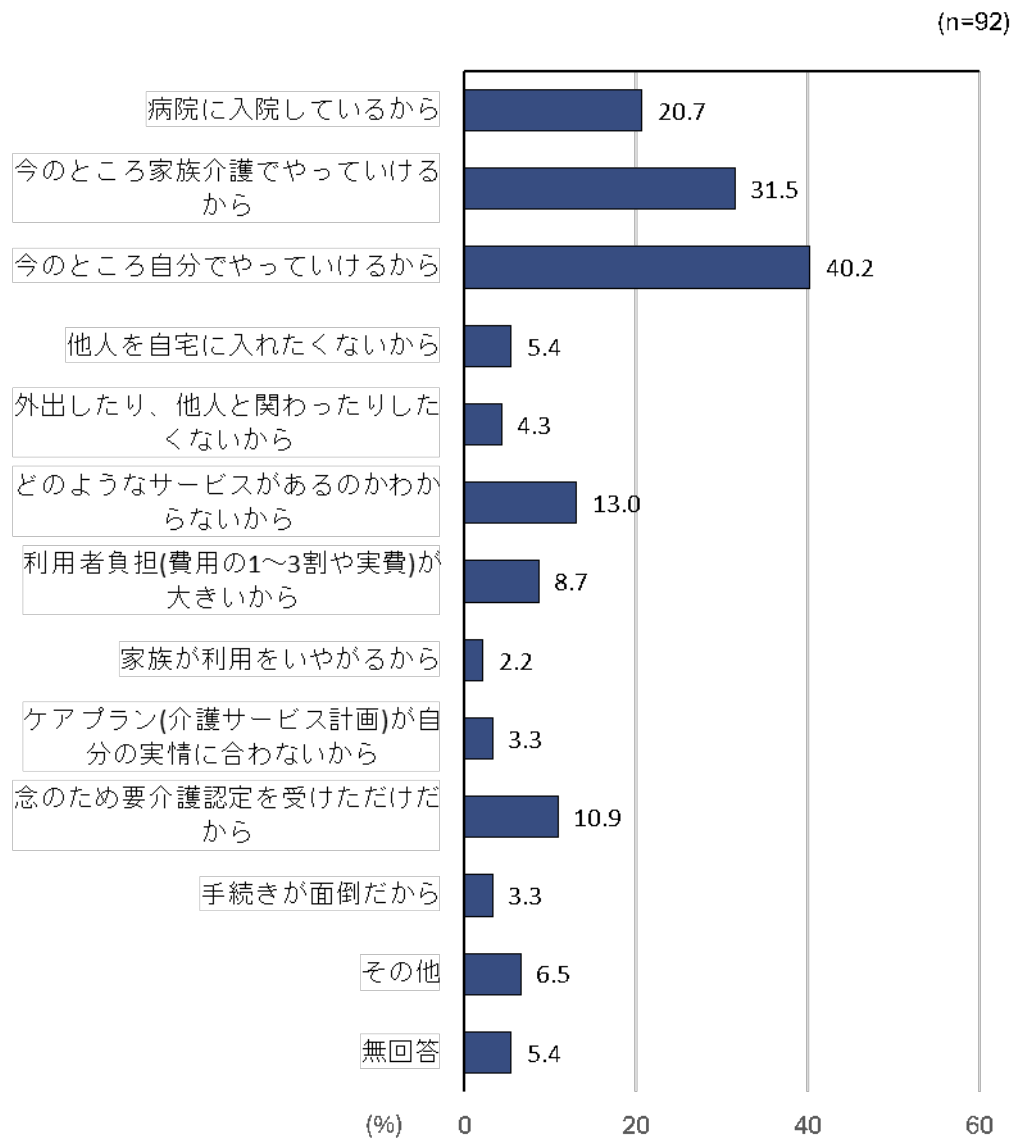
あなたは、この1か月に介護保険のサービスを利用しましたか。

「利用している」が85.1%で最も多く、次いで「利用していない」が12.2%となっている。



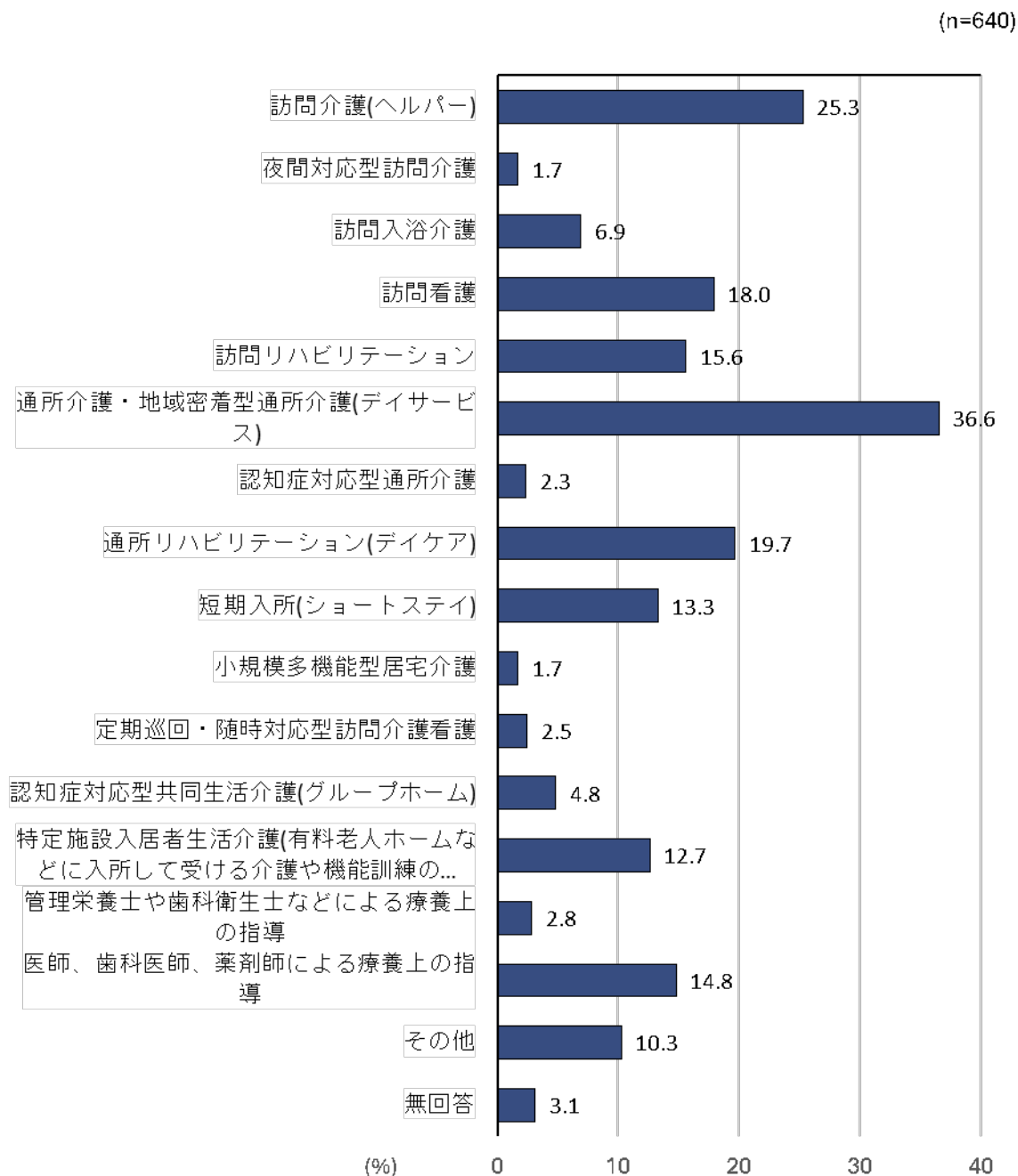
（「利用していない」を選択された方）利用していない理由は何ですか。（〇はいくつでも）

「今のところ自分でやっていけるから」が40.2%で最も多く、次いで「今のところ家族介護でやっていけるから」が31.5%となっている。その他、「病院に入院しているから」（20.7%）が比較的高くなっている。



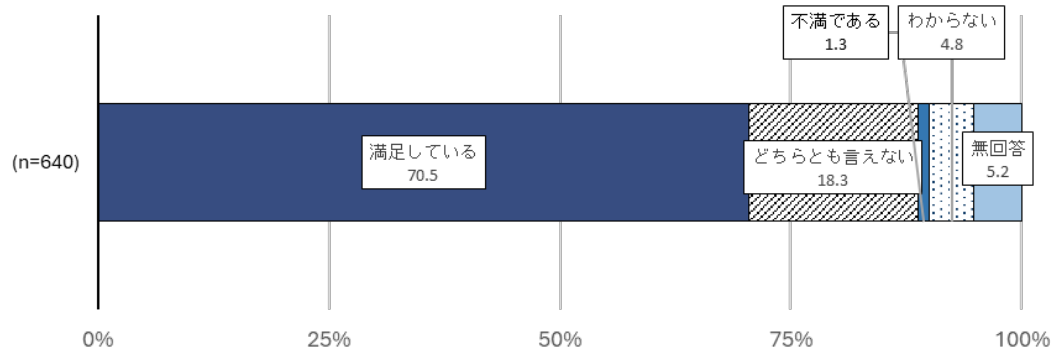
(「利用している」を選択された方)以下のサービスを利用していますか。(〇はいくつでも)

「通所介護・地域密着型通所介護(デイサービス)」が36.6%で最も多く、次いで「訪問介護(ヘルパー)」が25.3%となっている。その他、「通所リハビリテーション(デイケア)」(19.7%)、「訪問看護」(18.0%)、「訪問リハビリテーション」(15.6%)が比較的高くなっている。



(「利用している」を選択された方)利用しているサービスに満足していますか。

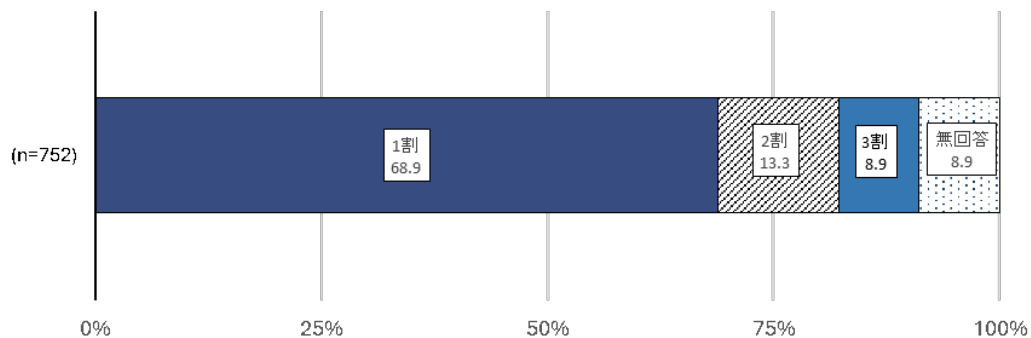
「満足している」が70.5%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」が18.3%となっている。



介護サービスを受けるためには、所得に応じてサービス利用費用(※食費・居住費を除く)を自己負担していただく必要があります。

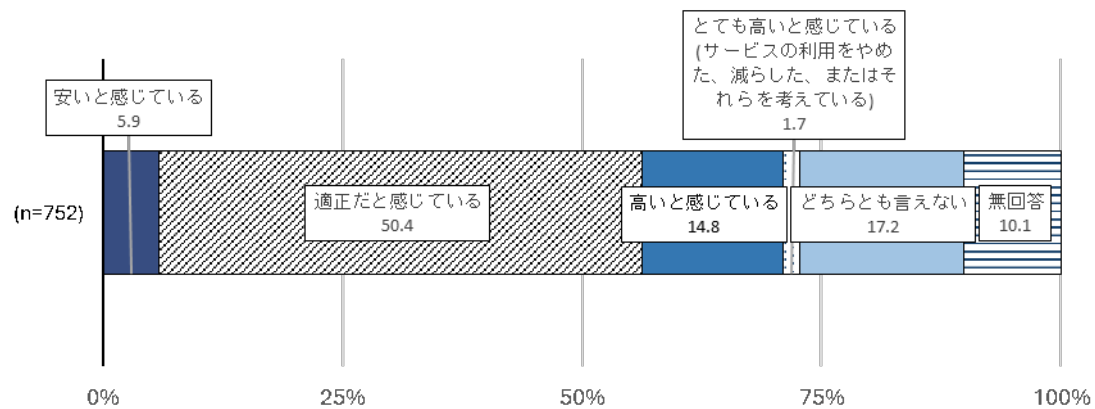
あなたの自己負担割合をお答えください。

「1割」が68.9%で最も多く、次いで「2割」が13.3%となっている。



お答えいただいた費用(自己負担分)について、どのように感じていますか。

「適正だと感じている」が50.4%で最も多く、次いで「どちらとも言えない」が17.2%となっている。

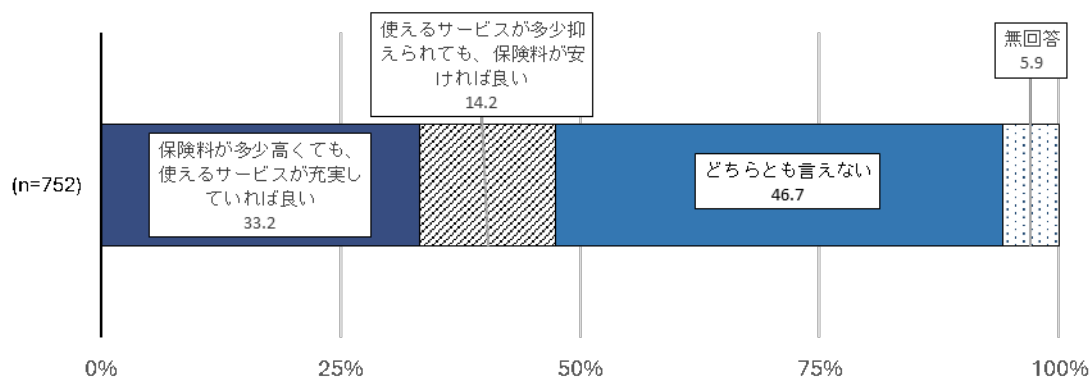


6. 介護保険制度・高齢者施策について

(1) 介護保険料と介護サービスのあり方について

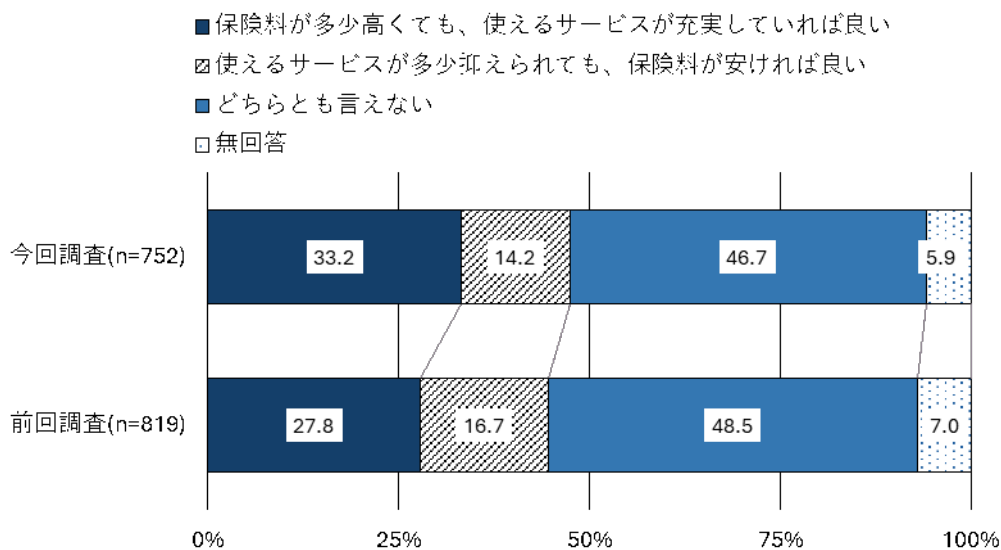
介護保険制度は、40歳以上の方から保険料を徴収して介護が必要な方にサービスを提供する費用にあてていますが、保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。

「どちらとも言えない」が46.7%で最も多く、次いで「保険料が多少高くても、使えるサービスが充実していれば良い」が33.2%となっている。



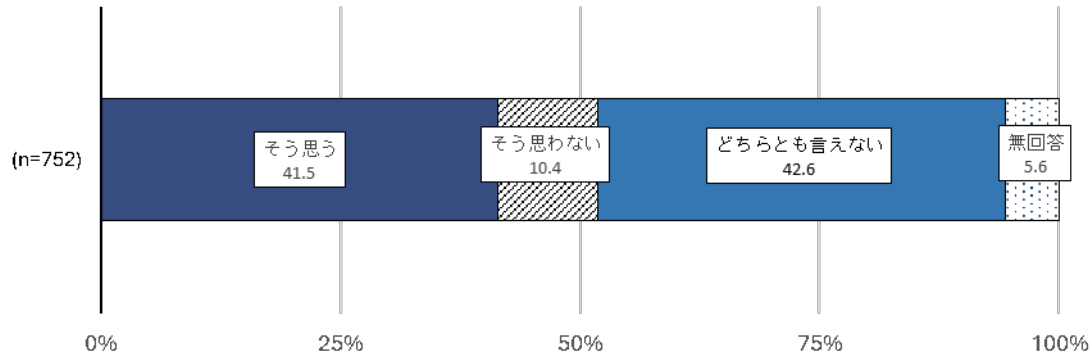
【経年比較】

前回調査と比較すると、保険料が高くてサービス充実を重視する割合がわずかに上昇している。



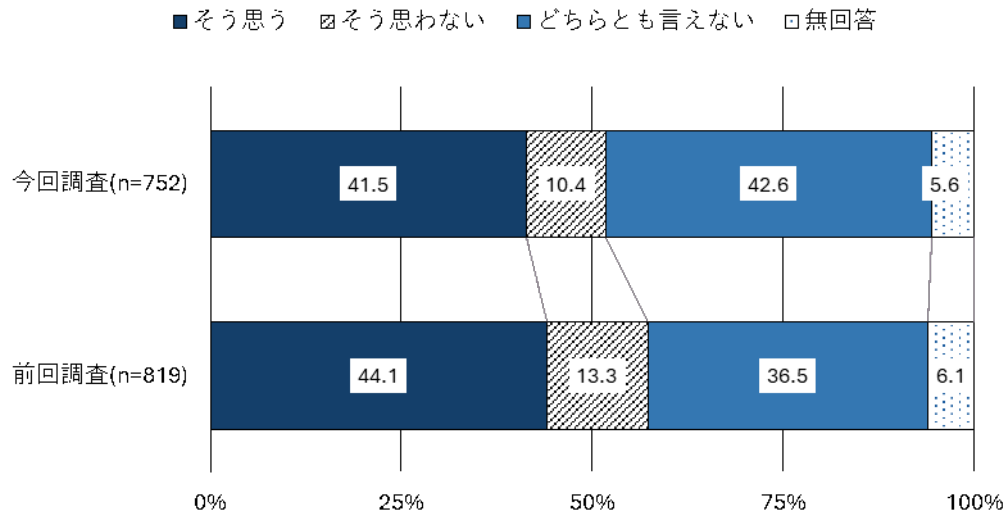
65歳以上の方の保険料に関して「低所得者に配慮するために、高所得者の負担を多少増やすのもやむを得ない」ということについて、あなたはどのようにお考えですか。

「どちらとも言えない」が42.6%で最も多く、次いで「そう思う」が41.5%となっている。



【経年比較】

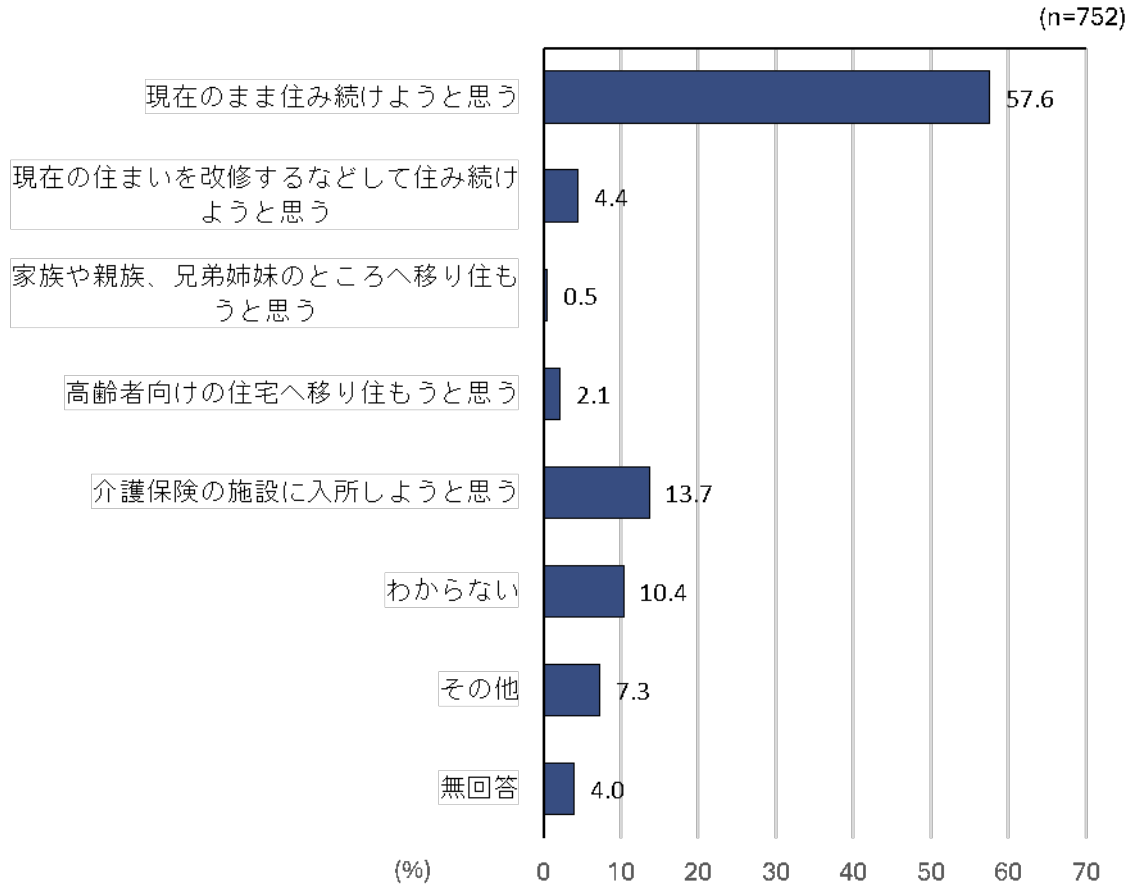
前回調査と比較すると、「そう思う」「そう思わない」がわずかに下がり、「どちらとも言えない」がやや上昇している。



(2) 今後希望する生活場所

今後希望する生活場所についてうかがいます。

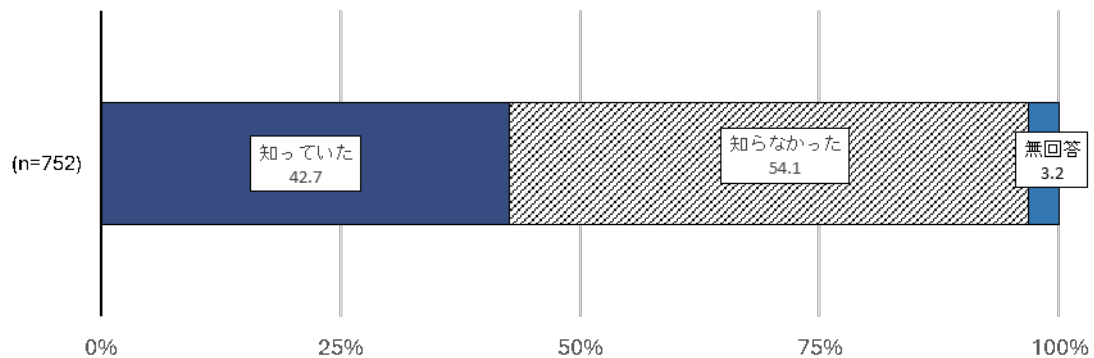
「現在のまま住み続けようと思う」が57.6%で最も高く、他の項目と比べて大きく上回っている。



(3) 高齢者外出支援事業

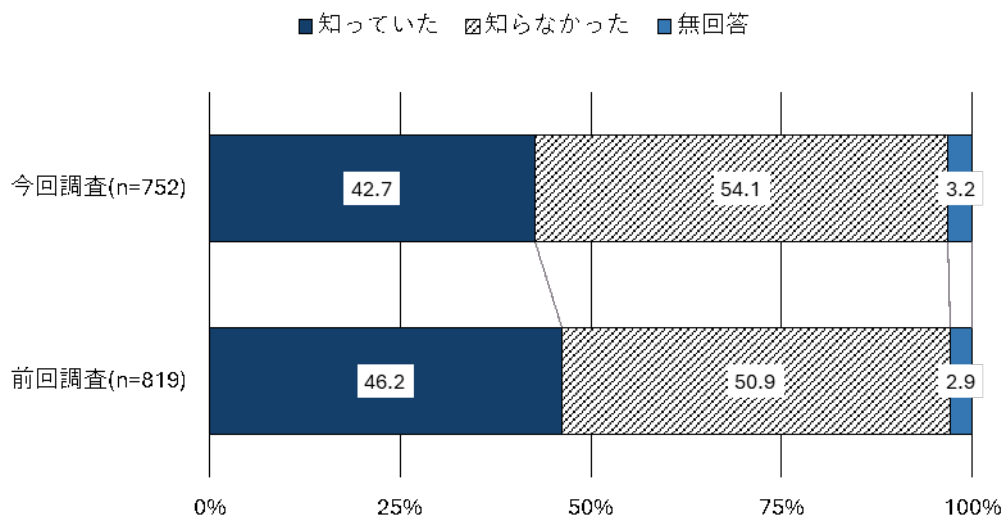
高齢者外出支援事業についてうかがいます。市では、高齢者が自宅にひきこもらず気軽に外出し、健康で自分らしい生活を送っていただくこと、また、経済的負担の軽減を目的として在宅で生活する75歳以上の非課税世帯に対して、高齢者外出支援事業として、1枚500円のタクシー券を月3枚(年間最大36枚)、交付していますが、ご存じですか。

「知らなかった」が54.1%で最も多く、次いで「知っていた」が42.7%となっている。



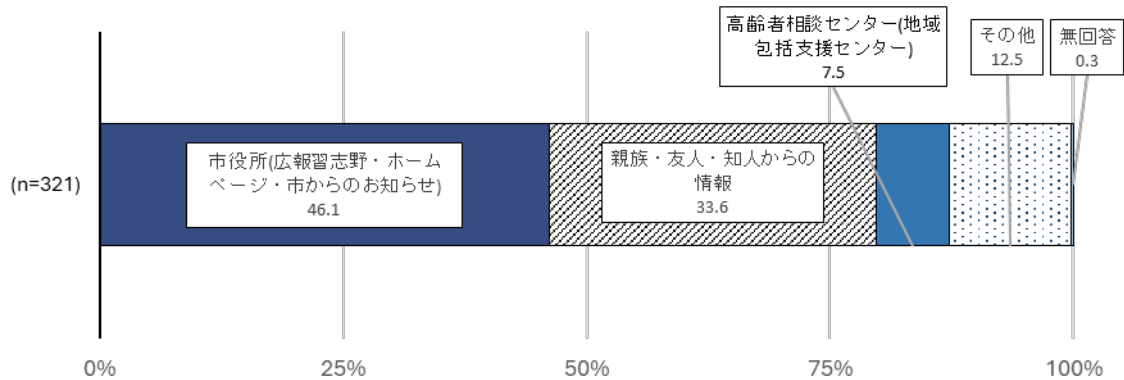
【経年比較】

前回調査に比べ、認知している割合がわずかに下がっている。



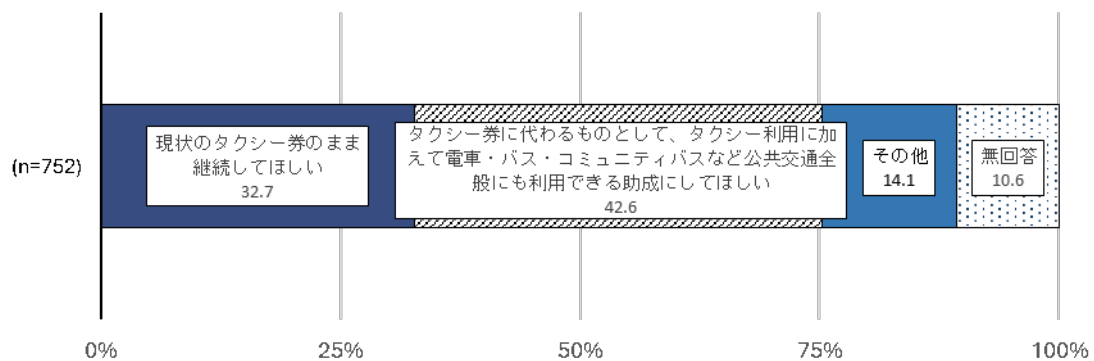
（「知っていた」を選択された方）本事業を何で知りましたか。

「市役所（広報習志野・ホームページ・市からのお知らせ）」が46.1%で最も多く、次いで「親族・友人・知人からの情報」が33.6%となっている。



より良い高齢者の外出支援策とするには、今後どのような事業の見直しを行うのが良いと思いますか。

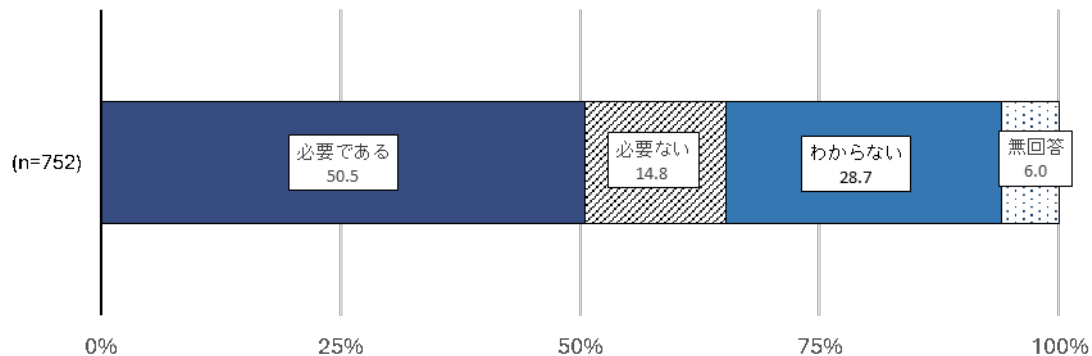
「タクシー券に代わるものとして、タクシー利用に加えて電車・バス・コミュニティバスなど公共交通全般にも利用できる助成にしてほしい」が42.6%で最も多く、次いで「現状のタクシー券のまま継続してほしい」が32.7%となっている。



(4) 運転免許証自主返納者への支援

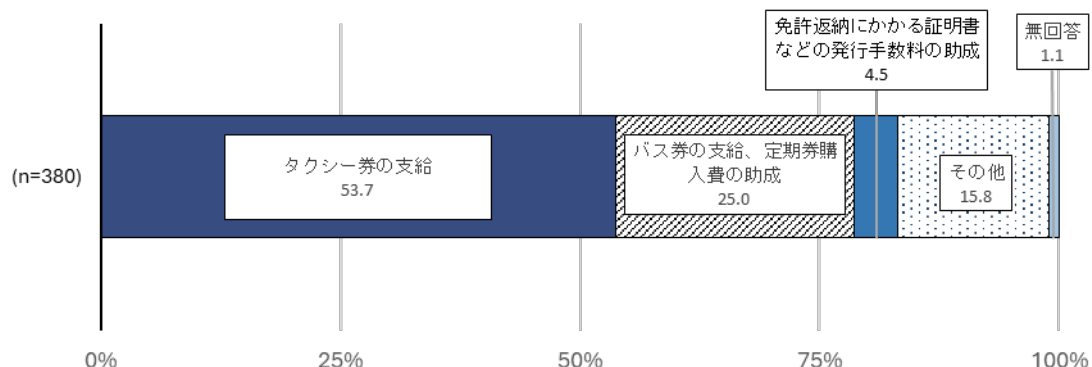
近年、高齢者ドライバーが当事者となる痛ましい事故が多発し、運転免許証の自主返納に大きな関心が集まっています。本市の公共交通は比較的充実していることから、現時点でタクシー券等の支給は行っていないですが、今後、運転免許証を自主返納した方に対する税金を使った支援は必要であると思いますか。

「必要である」が 50.5%で最も多く、次いで「わからない」が 28.7%となっている。



(「必要である」を選択された方)どのような支援が必要であると思いますか。

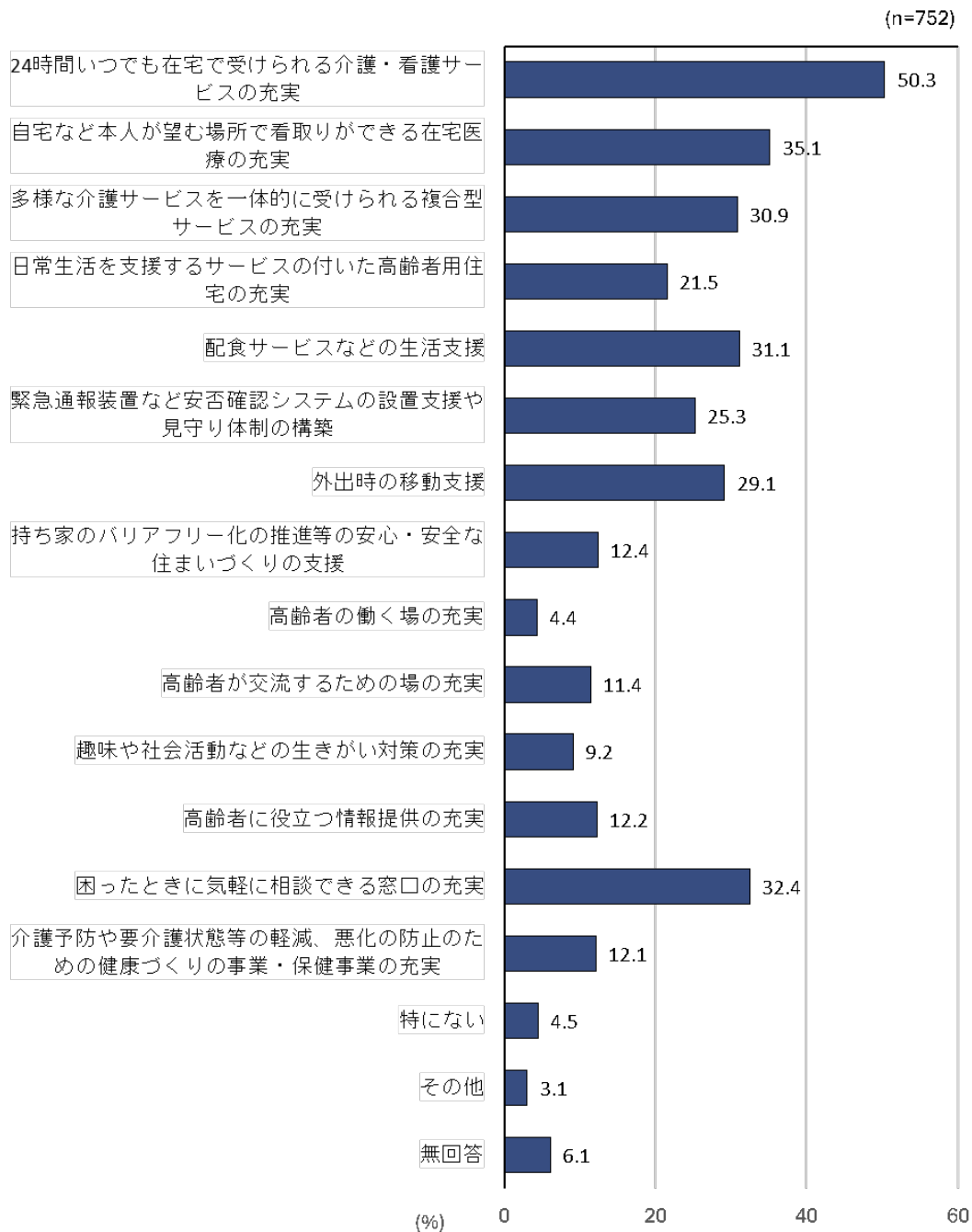
「タクシー券の支給」が 53.7%で最も多く、次いで「バス券の支給、定期券購入費の助成」が 25.0%となっている。



(5) 高齢者が地域で在宅を続けるために必要な施策

あなたは、高齢者が住み慣れた地域で在宅生活を続けていくために、主としてどのような施策が必要であると考えますか。(〇は5つまで)

「24時間いつでも在宅で受けられる介護・看護サービスの充実」が50.3%で最も多く、次いで「自宅など本人が望む場所で看取りができる在宅医療の充実」が35.1%となっている。その他、「困ったときに気軽に相談できる窓口の充実」(32.4%)、「配食サービスなどの生活支援」(31.1%)、「多様な介護サービスを一体的に受けられる複合型サービスの充実」(30.9%)が比較的高くなっている。

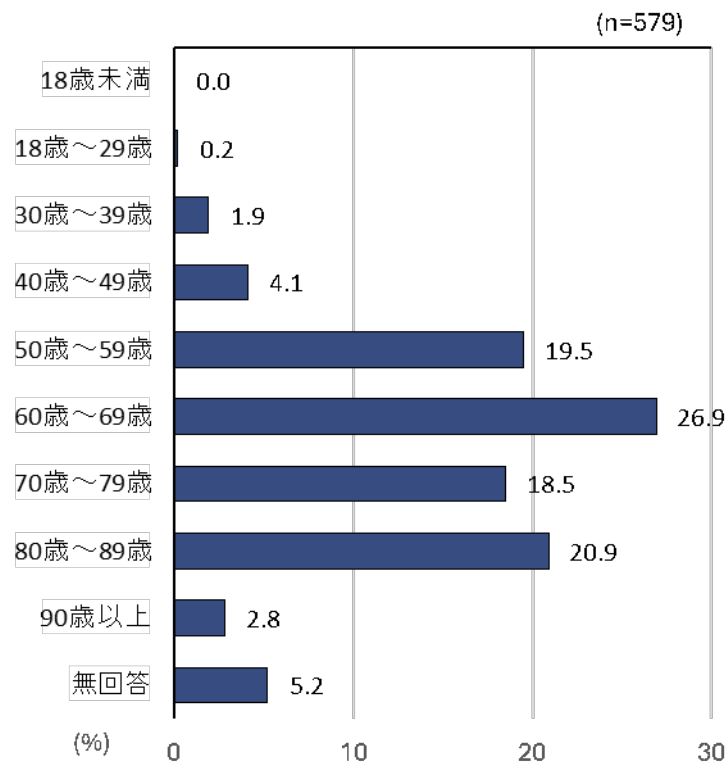


7. 主な介護者の方にうかがいます。

(1) 介護者の年齢

あなたの年齢をお答えください。

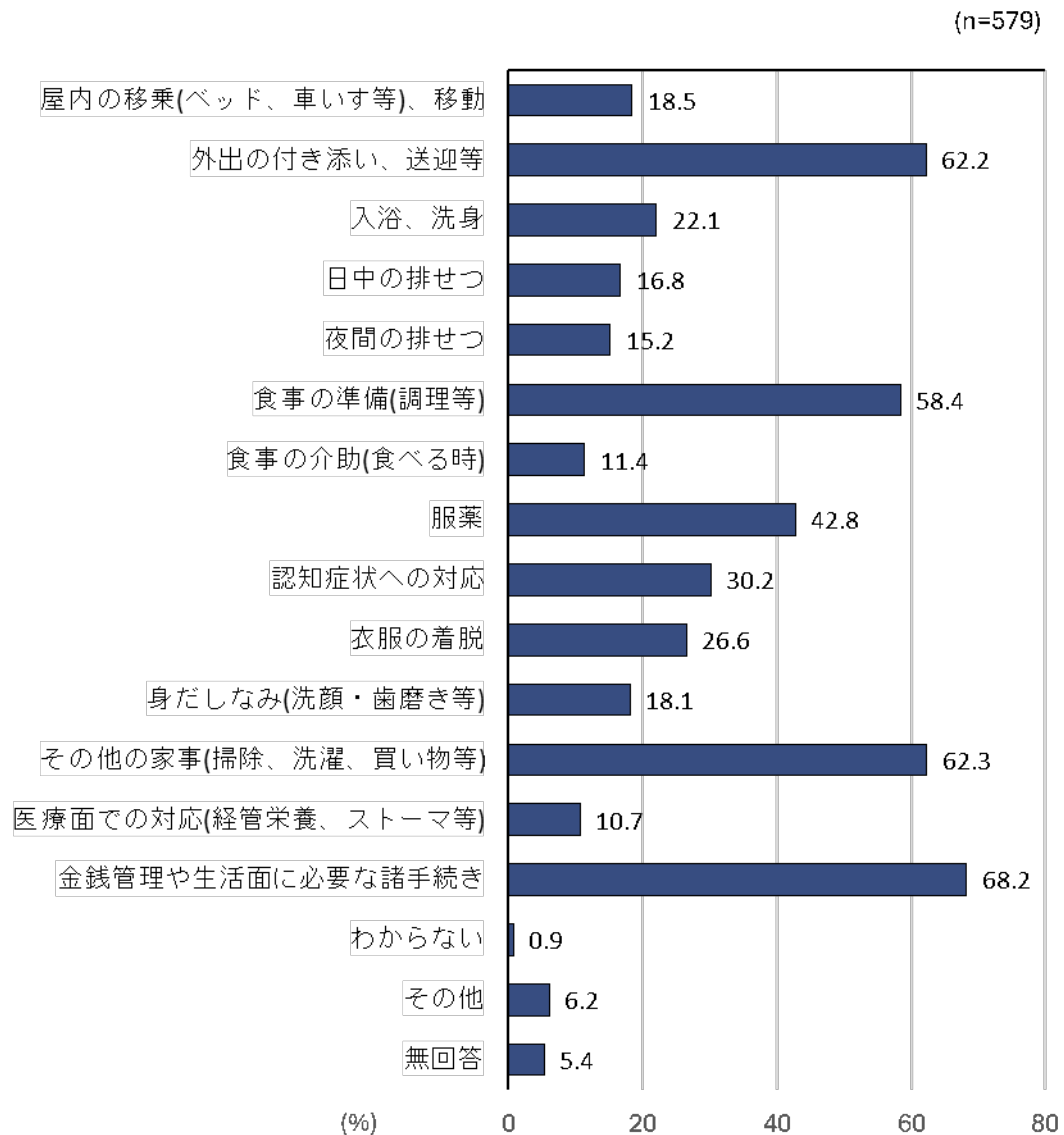
「60歳～69歳」が26.9%で最も多く、次いで「80歳～89歳」が20.9%となっている。



(2) 介護の種類

現在、主な介護者の方が行っている介護等は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

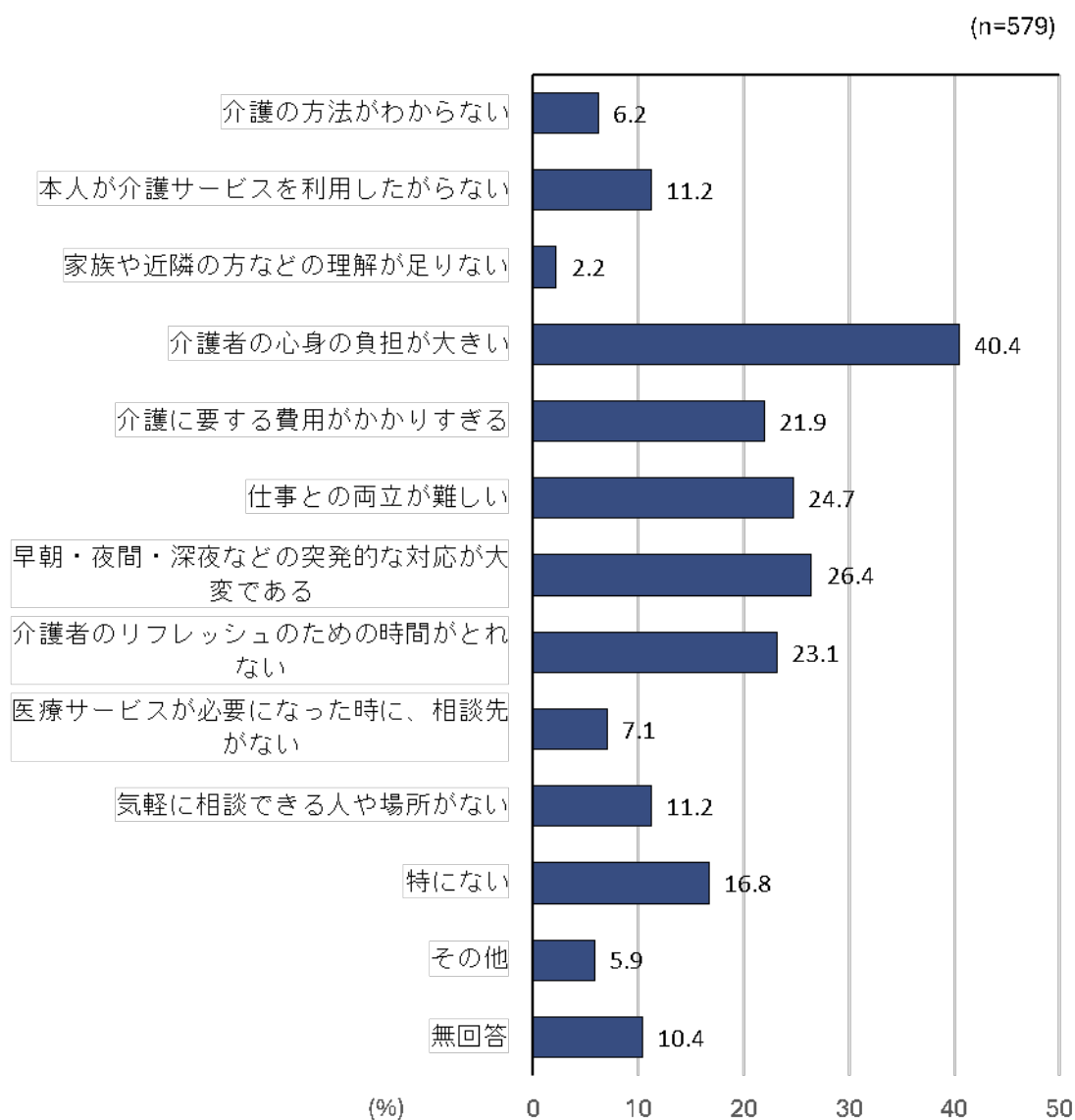
「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が68.2%で最も多く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が62.3%となっている。その他、「外出の付き添い、送迎等」(62.2%)、「食事の準備(調理等)」(58.4%)、「服薬」(42.8%)が比較的高くなっている。



(3) 介護を行う上で困っていること

介護を行う上で困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

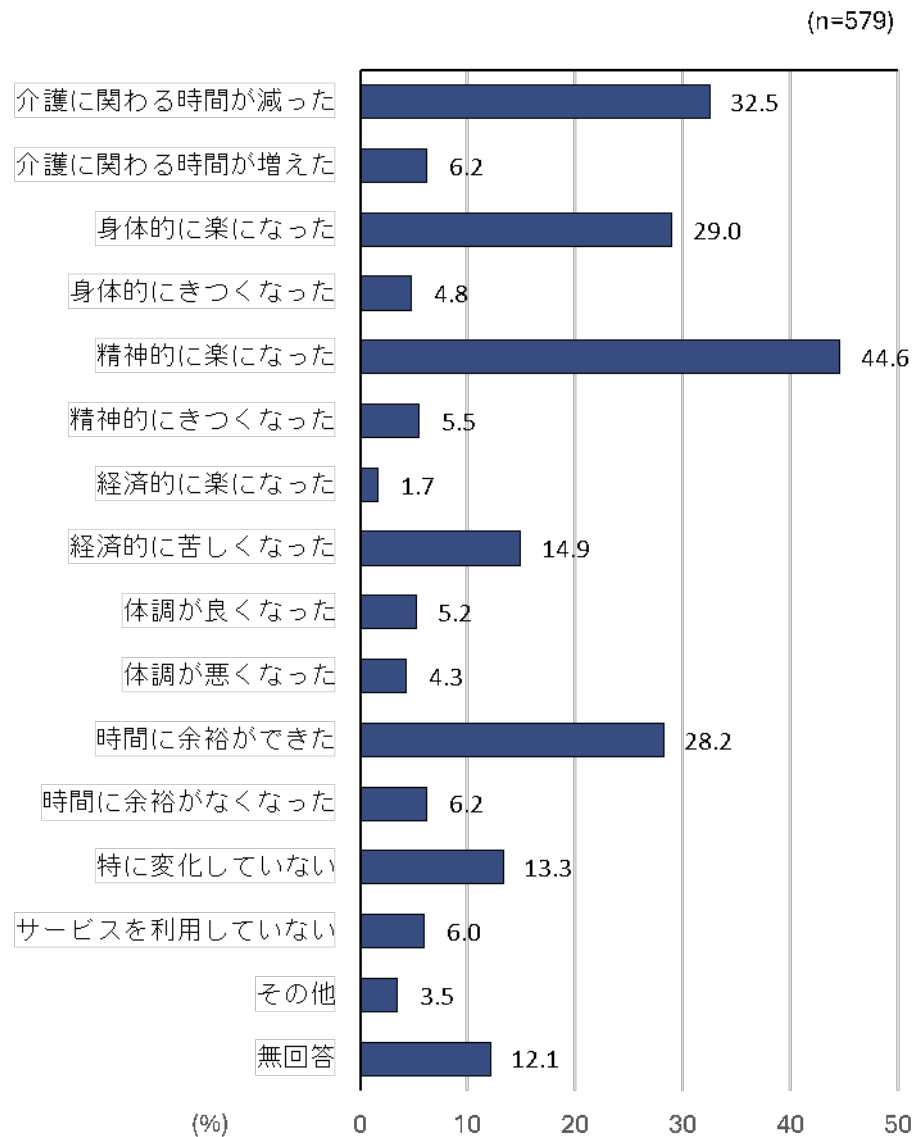
「介護者の心身の負担が大きい」が40.4%で最も多く、次いで「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が26.4%となっている。その他、「仕事との両立が難しい」(24.7%)、「介護者のリフレッシュのための時間がとれない」(23.1%)、「介護に要する費用がかかりすぎる」(21.9%)が比較的高くなっている。



(4) 介護サービスを利用することによる変化

介護サービスを利用することによって、介護している方はどのように変化しましたか。(〇はいくつでも)

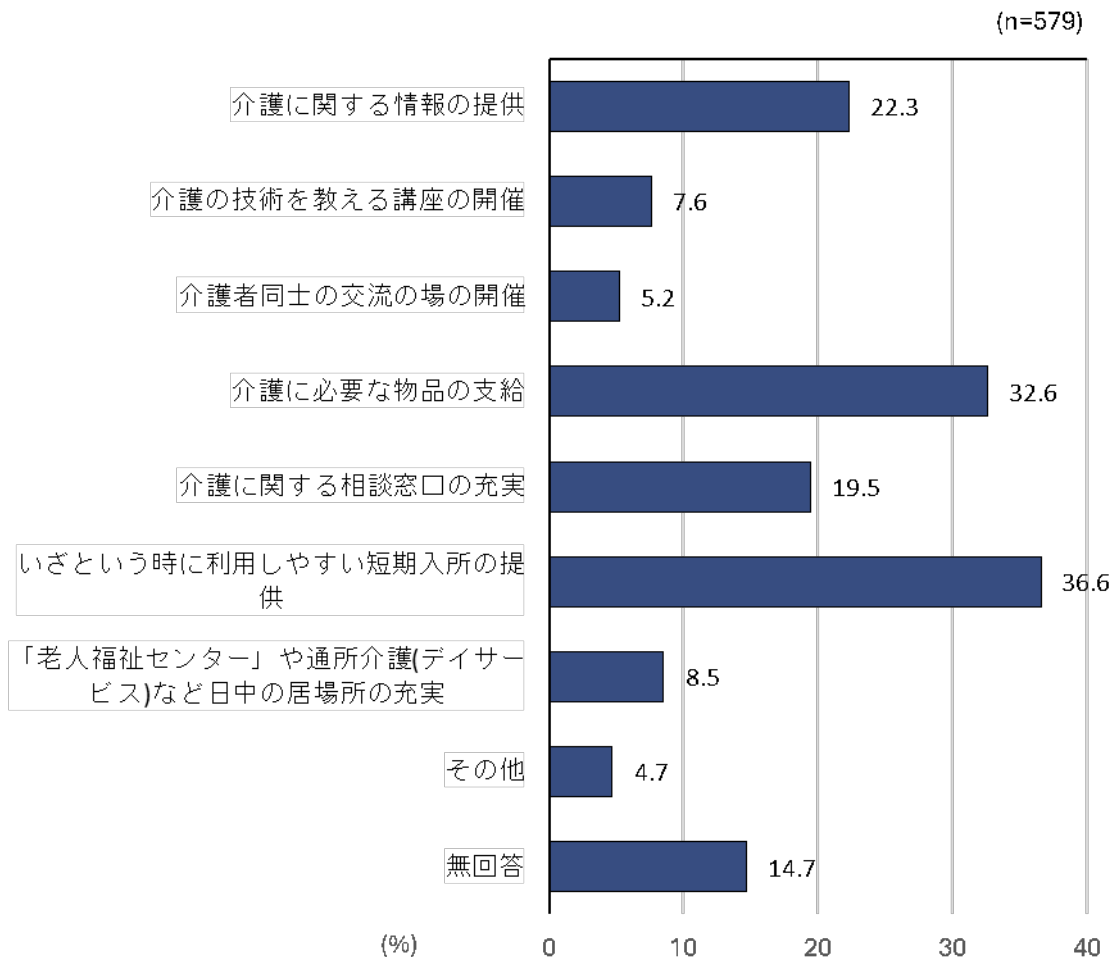
「精神的に楽になった」が44.6%で最も多く、次いで「介護に関わる時間が減った」が32.5%となっている。その他、「身体的に楽になった」(29.0%)、「時間に余裕ができた」(28.2%)が比較的高くなっている。



(5) 介護者としてあったらいいと思う支援

介護者として、介護に関してどのような支援があったらいいと思いますか。(〇は3つまで)

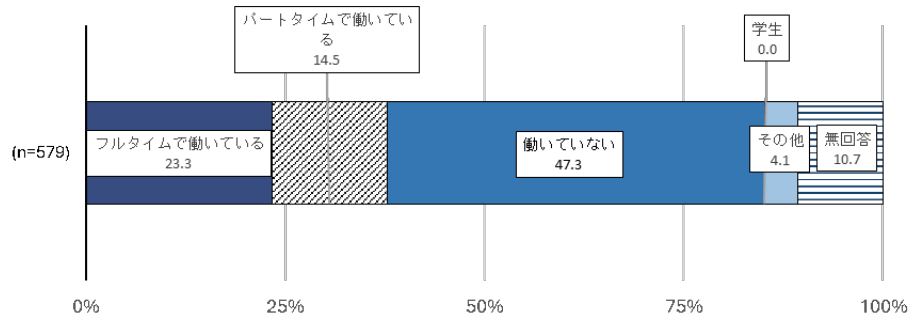
「いざという時に利用しやすい短期入所の提供」が36.6%で最も多く、次いで「介護に必要な物品の支給」が32.6%となっている。その他、「介護に関する情報の提供」(22.3%)「介護に関する相談窓口の充実」(19.5%)が比較的高くなっている。



(6) 介護者の勤務形態

あなたの現在の勤務形態についてお答えください。

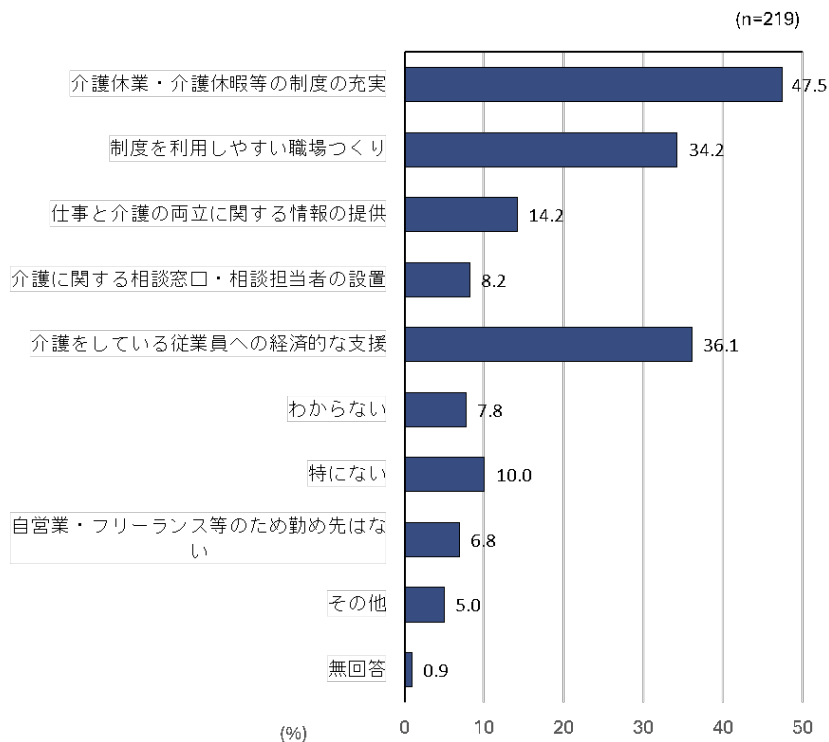
「働いていない」が47.3%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が23.3%となっている。



(7) 仕事と介護の両立に効果のある支援

(フルタイム・パートタイムで働いている方)あなたは、勤め先からどのような支援があれば仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が47.5%で最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が36.1%となっている。その他、「制度を利用しやすい職場づくり」(34.2%)が比較的高くなっている。



8. ご意見・ご要望

市の高齢者保健福祉施策についてご意見、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

① 情報提供・相談支援・ケアマネジャー連携

- ・ 介護の仕方が当初全くわからず、排泄ケア・移乗・入浴方法・声かけのノウハウを教えてくれる教室や冊子があれば助かった。
- ・ 介護が必要になった時の介護ガイドがあると嬉しい。状態に応じた介護の仕方・支給品・助成金がわかりやすくまとまったもの。冊子の定期配布も希望する。
- ・ 移乗方法やパッド交換などの実技講習があれば、介護する人もされる人もより快適に過ごせ、施設入所を先延ばしできると思う。
- ・ 妻が病院にかかって初めて介護保険のことを知った。事前の情報提供が不足している。
- ・ 介護・障害に関する情報提供が少なく、知っていれば使えたサービスがあった。市が支援している物品・情報をもっと大きくPRしてほしい。
- ・ 役立つ情報の提供と相談窓口の充実を希望する。介護初心者にもわかりやすい手引書を無料配布してほしい。
- ・ 市のアプリやLINEは子育て情報ばかりで介護の情報がない。高齢者が増えることも見据えた発信をしてほしい。
- ・ 別居の子どもも情報を得られるよう、本人以外の希望者宛に情報提供できる制度がほしい。スマホがなく市の福祉情報がわからない人への対応も必要。
- ・ 要介護になった際の具体的なアクションの提案や、経済的な制度の推進、家族へのケアなどを充実してほしい。
- ・ 特養などの施設をもっと積極的に紹介してほしい。施設情報をもっと調べやすくしてほしい。ケアマネジャーだけでなく介護経験者の助言を早く聞ける環境があれば良かった。
- ・ ケアマネジャーを探す方法がわからない。認定後の訪問が不十分で変更を希望しても対応されない。ケアマネジャーの質にばらつきがある。
- ・ ケアマネジャーは計画を作る人であって、介護に関して親身に相談できる存在ではないのか。専門性と寄り添う姿勢に疑問がある。制度そのものの再検討が必要ではないか。
- ・ ケアマネジャーを交代したい時の情報が全くなく言い出しにくい。通所施設のサービスの質や評判も情報交換できるプラットフォームや交流の場を検討してほしい。
- ・ 地域密着型サービスが近隣市より少なく複数施設に問い合わせるなど手間がかかった。
- ・ 介護と看護の境目に対応できる相談窓口がわからない。
- ・ 相談窓口が遠く、近くに相談窓口がほしい。体調不良時に相談できる窓口と総合内科のような医療機関があるとありがたい。
- ・ 介護保険の理解が追いつかないまま状況が進んで大変だった。わからない中手探りでやっている感じで、いろいろ教えてもらえると助かる。

- ・ 市役所窓口でパンフレットを渡されただけで、もう少し丁寧に話を聞いてほしかった。習志野市では初めての方には寄り添った対応をお願いしたい。
- ・ ケアマネジャーの声にも耳を傾けてほしい。

② 施設の整備・拡充・入所支援

- ・ 特養・サ高住・特別養護老人ホームを増やしてほしい。市内の特養は他市と比べて少なく、要介護5でも入れなかった。
- ・ 近隣に施設がなく遠くの施設に入居しており、家族が頻繁に訪問できない。
- ・ インスリン注射をしていると受け入れてくれるショートステイ先が少ない。認知症対応施設も少なく入所待ちになっている。
- ・ 施設費用が高すぎて入所を断念している。低料金・低所得者でも入れる施設を増やしてほしい。
- ・ 特養の費用が年金でまかなえない。施設費用が年金を超え子どもが負担しているケースもある。経済的負担が重く、介護度にかかわらず入居しやすい環境が必要。
- ・ 習志野市はリハビリ施設が少なく、労健も少なく大変苦労した。
- ・ ショートステイ利用前的高額な健康診断料など利用のハードルが高すぎる。介護者が病気・入院した時に緊急対応できる預かり制度が必要。
- ・ 施設入所後の入居者同士の交流機会を設けてほしい。有料老人ホームで話し相手がおらず孤独を感じている。
- ・ 施設職員の態度が悪いケースがある。介護施設の現場監督と苦情・相談窓口の整備を強く求める。楽しみに思えるような施設づくりを。
- ・ 認知症が進み急遽入院させたが、退院後に入所できる施設が見つからず困っている。
- ・ デイサービスの職員給与を上げ、職員数を増やすよう県・国に強く求めてほしい。ヘルパーが不足しており自腹のヘルパーは高すぎる。
- ・ 介護施設で個室に1人でいる入居者への見守りが人手不足で少なくなりがち。

③ 介護者支援・ヤングケアラー・孤立防止

- ・ 役所ではなく気軽に愚痴や相談ができる場が欲しい。燃え尽き症候群になり精神疾患が悪化した経験から、介護者同士の交流の場を検討してほしい。
- ・ 介護者の精神的・経済的な支援をもっと充実させた施策をしてほしい。単独介護・老々介護の方への介護者サポートを充実させてほしい。
- ・ 退職して介護している。相談先がわからない介護者への支援が必要。家族間の暴力増加も懸念される。
- ・ フルタイムで働きながら介護しているが精神的に辛い。施設入所を本人が拒否しており、安価な施設の空きもわからず辛い状況が続いている。
- ・ デイケアの予算枠が増えれば有給なしで働け、食事支援も5日間入れると安心できる。

- ・ 認知症の家族がいても安心して就労できる仕組みがほしい。夜間まで延長できるデイサービスの拡大が今後必要。
- ・ 介護離職者の実態や気持ちを市に知ってほしい。両親の介護で自身のがん発見が遅れた。介護者が抱え込まないような社会になってほしい。
- ・ ヤングケアラーが介護のために学校に通えなかったり収入を全て介護費用に充てることはあってはならない。こうした子どもが普通に生活できるよう制度や支援を増やしてほしい。
- ・ 介護している・されている者を孤立させない仕組み作りを希望する。
- ・ 地域交流・ボランティアは必要だが、個人情報と責任の扱いに課題がある。
- ・ 信頼できるボランティアによる定期的な見回り・声かけ・別居家族への報告などの制度があるとよい。
- ・ 見守りサービス設置支援を習志野市でも展開してほしい。
- ・ 高齢者の 1 人暮らしは認知症が進みやすいため、地域とのつながりを持てる活動を望む。
- ・ 介護は突然やってくるため、事前に親子で知識を得る講座や YouTube 動画での配信なども有効ではないか。

④ 移動支援・交通・バリアフリー

- ・ タクシー券が同居・世帯分離・介護度などの条件で打ち切りになるケースが多い。一人ひとりの生活を考えた柔軟な対応をしてほしい。
- ・ パーキンソン病・難病・歩行困難など身体状況に応じたタクシー券支給を。障害の程度に応じた支援が必要。
- ・ タクシー券の 100 円単位化、どの業者でも使えるようにしてほしい。申請に行けない高齢者が使えていないため、申請支援も必要。
- ・ 通院のタクシー代が苦しい。実際に困っている人へのタクシー券給付を考えてほしい。介護度が低くても必要に応じて支給してほしい。
- ・ 介護度が下がるとタクシー券が支給されなくなり通院費が高額になる。介護度にかかわらず必要な人に支給してほしい。
- ・ 免許返納後に移動手段がなくなった。タクシーは 3 日前予約が必要で緊急時に来ない。ボランティア移動制度や低価格の移動手段を作してほしい。
- ・ コミュニティバスのルートから外れており利用できない。ハッピーバスの増便、八千代方面へのルート広域化、通院路線の新設を望む。
- ・ 足の不自由な方が専用乗り場以外でもタクシーに乗れるようにしてほしい。自動車いすのレンタルがあると便利。
- ・ 東習志野は交通の便が悪く、車がないとスーパーまで 30 分以上かかる。車がないと何もできない地域があることを知ってほしい。
- ・ 駅の階段など基本的なインフラが高齢者には使いにくい。施策担当者には実際に目で確かめてほしい。

- ・ 玄関の段差に対応できる無償の用具があると助かる。
- ・ 外出が難しくなった際に買い物や通院の介助をお願いできるようにしてほしい。付き添い専門員がいると助かる。

⑤ 費用・経済的負担

- ・ 支援が非課税世帯だけに集中しているが、介護度でも対応してほしい。介護保険・健康保険の負担が大きく大変。
- ・ 介護保険料が高すぎる。3年ごとの改訂のたびに上がり年金受給者には払いきれない。市民税と後期高齢者医療保険も高い。
- ・ 負担割合が上がると利用日数を減らさざるを得ず仕事も減らすことになる。介護5の点数上限の引き上げとオムツ配布を。
- ・ 日常生活用具費のストーマ関係費用が上限を超えるため上限額の引き上げをお願いしたい。吸入酸素ポンペを手軽に借り入れできると助かる。
- ・ おむつ支給は助かるので継続してほしい。同居の有無にかかわらず受けられるサービス・おむつ助成の拡充を。
- ・ 費用がかかりすぎて利用したくても利用できない。デイサービスも費用面で増やせない。
- ・ 介護保険負担限度額の所得区分が大まかすぎる。境界線付近で急に負担額が増えるため、収入に応じた細かい段階設定を。
- ・ 介護保険料が上がってもサービスの充実につながらないことに疑問がある。
- ・ 介護負担割合が変わる際はもう少し早めに知らせてほしい。

⑥ 手続き・行政対応の改善

- ・ 高齢の親宛てに市から還付金の申請書が何通も届く。申請が負担で申請できない人も多い。プッシュ型給付(申請不要)の検討を。
- ・ 各種更新手続きの締切日がバラバラで来所が必要。一度で更新手続きが完了するよう統一してほしい。
- ・ デイサービス等を複数利用するたびに同じ内容の契約書類を書かなければならない。マイナンバーカードを活用した手続き簡略化を。
- ・ マイナンバーカードの更新など、外出できない高齢者には対応不能ことがある。近くの施設で手続きできると助かる。
- ・ 遠隔別居での介護のために、各種手続きが平日のみでなく本人不在でも対応できる支援が必要。
- ・ 難病支援制度の障害者認定など手続き申請が煩雑なため簡素化してほしい。
- ・ 介護認定に時間がかかりすぎる。一ヶ月の間に状態が変わる可能性もある。
- ・ 介護認定の際は状態・状況を十分に調査した上で決定してほしい。
- ・ 成年後見人制度の説明が不十分で死ぬまで報酬を払い続ける仕組みと知らずに利用させられそうになった。

- ・ 高齢者の一人暮らしが増える中、身寄りのない場合の葬儀・遺品整理について市としての取り組みが必要。死亡した時の案内が全くない。
- ・ 施設の契約・見学や役所の手続きを土日祝日にも行えるようにしてほしい

⑦ 医療・介護連携・緊急時

- ・ 病院などの入院時の支援など、おひとり様支援強化、死亡時への対応が必要。
- ・ 夜間・緊急時のサービスが少なく在宅介護の限界を感じた。夜間ヘルパー・緊急対応サービスが充実すれば在宅介護できる人が増える。
- ・ アルツハイマー型認知症の初期治療方針が医師によって大きく異なる。運動機能を損なうような治療の際は施設入所での対応など、支援・治療の在り方を確立してほしい。
- ・ 介護と看護の境目に対応できる相談窓口がわからない。
- ・ 人工呼吸器を24時間使用しており、災害時の電力確保が非常に心配。
- ・ 施設入所中の方が災害時にどう対応するか、食料・医療備蓄や家族への連絡方法など具体的な計画を説明してほしい。
- ・ 市からのお知らせのスピーカーの音が夜間は声が割れて聞き取れない。災害時の情報伝達が心配。
- ・ 外出困難な状態でインフルエンザに罹患した際、往診してくれる医院が全くなかった。緊急時の対応方法をインターネットが使えない人でも知れるよう広報で知らせてほしい。
- ・ 年末年始の長期休所時に何かあった場合の対応が心配。
- ・ 施設職員の中に利用者を否定するような態度をとる者がおり不安を覚える。
- ・ 栄養士監修の宅食デリバリーがあるとよい。
- ・ 吸入酸素ポンペを手軽に借り入れできると助かる。

⑧ その他ご意見・ご要望

- ・ 予防医療の充実を希望する。
- ・ 70歳から毎年認知症検査を在宅でも受けられるよう促してほしい。BPSDが介護認定点数に反映されにくく、家族の精神的負担が大きい。
- ・ 認知症になり1人で生活できなくなった時のために、元気なうちから支援できる仕組みが欲しい。70歳になったら老後の生活プランを一緒に考えてくれる窓口が市役所にあるとよい。
- ・ 難聴が認知症を悪化させるため、65歳以上への定期的な聴力検査と補聴器への補助を求める。
- ・ 骨折を機に要介護状態になる方の増加に備え、特養でのリハビリを継続してほしい。
- ・ 高齢者保健福祉施策は他の市町村より遅れている。もっと充実させてほしい。支援者の養成と介護サービスの充実を願う。
- ・ 市役所の担当者・包括支援センターの方が親身に相談にのってくださり感謝している。高齢者向け配食サービスも味・メニュー・量とにもよく、大変助かっている。

- ・ 高齢者にやさしい町づくりをモットーにしてもらえれば、安心して老後を送れると思います。
- ・ 認知症の母のため施設の方々にお世話になっている。今後ともよろしく願いたい。
- ・ 施設で介護してもらっており助かっています。ありがとうございます。
- ・ 施設に入れたことで老老介護の心配がなくなり、わからないことを相談できる環境に大変感謝している。
- ・ 施設の担当者はよく面倒を見てくれています。ありがとう。
- ・ 在宅介護約10年の間、おむつ支給・タクシー券等に大変助かった。今後も支援が必要な方が増えていくと思うので、介護に関わる皆様のご健康をお祈りしている。
- ・ 市役所の窓口では丁寧に対応していただけました。感謝いたします。
- ・ 難病の独居実弟の介護をすることになったが、市の福祉窓口・地域包括支援センター・介護スタッフの方々のサポートがなければ最悪の選択をしていた可能性もあった。感謝するのみです。
- ・ 特にありませんが、施設担当者の方々に感謝しています。ありがとうございます。
- ・ 習志野市は良く行き届いていると思います。今後も続けてもらいたいです。

⑨ 本調査へのご意見

- ・ このアンケートは本人・家族にとっても負担。実態を知りたいなら直接施設に来るべきで、介護が必要な人にやらせすぎだと感じる。